

平成25年度 全国学力・学習状況調査

宮城県の調査結果報告

目 次

I	平成25年度全国学力・学習状況調査の概要	P1
1	目的	
2	実施日	
3	対象	
4	内容	
5	参加状況	
6	調査結果の概況	
7	今後の対応	
II	各教科の調査の結果	P3
1	小学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
2	小学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
3	小学校（算数） 主として「知識」に関するA問題	
4	小学校（算数） 主として「活用」に関するB問題	
5	中学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
6	中学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
7	中学校（数学） 主として「知識」に関するA問題	
8	中学校（数学） 主として「活用」に関するB問題	
III	類似問題の経年比較	P19
IV	児童生徒質問紙調査結果	P24
V	学校質問紙調査結果	P26
VI	平均正答率の高い県との比較	P28
VII	平成22年度調査結果との比較	P32

全国学力・学習状況調査の概要

1 目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 実施日 平成25年4月24日（水）

3 対象 小学校第6学年，中学校第3学年の全児童生徒

4 内容

- (1) 教科に関する調査 小学校6年生：国語，算数，中学校3年生：国語，数学
- (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 児童生徒に対する調査，学校に対する調査

5 参加状況（仙台市を含む）

公立小学校406校 参加児童数20,623名，公立中学校198校 参加生徒数18,636名

6 調査結果の概況

(1) 平成19年度から平成25年度までの教科に関する調査結果一覧

平成22年度，24年度の値は，上段は抽出校の平均正答率，下段は抽出校の平均正答率をもとに，悉皆調査を実施した場合の県の平均正答率を想定した値の範囲（95%信頼区間 文部科学省の説明による）。

		「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題						
		問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較	問題数	全国 平均正答率	宮城県 平均正答率	全国平均 との比較			
小 学 校	国 語	H25	18	62.7	60.8	-1.9	10	49.4	47.6	-1.8		
		H24	17	81.6 81.4-81.7	81.7 81.2--82.3	+0.1	11	55.6 55.4-55.8	55.9 55.1-56.8	+0.3		
		H22	15	83.3 83.2-83.5	83.4 82.7-84.0	+0.1	10	77.8 77.7-78.0	77.7 76.9-78.5	-0.1		
		H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7		
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3		
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0		
	算 数	H25	19	77.2	76.3	-0.9	13	58.4	56.5	-1.9		
		H24	19	73.3 73.1-73.5	72.7 71.9-73.5	-0.6	13	58.9 58.7-59.1	58.1 57.2-59.1	-0.8		
		H22	19	74.2 74.0-74.4	73.8 72.9-74.7	-0.4	12	49.3 49.1-49.5	47.8 46.8-48.7	-1.5		
		H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8		
		H20	19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2		
		H19	19	82.1	81.1	-1.0	14	63.6	61.4	-2.2		
		中 学 校	国 語	H25	32	76.4	77.6	+1.2	9	67.4	68.6	+1.2
				H24	32	75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.8	+1.1	9	63.3 63.2-63.4	65.5 64.9-66.2	+2.2
H22	35			75.1 75.0-75.2	76.2 75.6-76.7	+1.1	10	65.3 65.1-65.5	66.7 66.0-67.4	+1.4		
H21	33			77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9		
H20	34			73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0		
H19	37			81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0		
数 学	H25		36	63.7	62.2	-1.5	16	41.5	39.7	-1.8		
	H24		36	62.1 62.0-62.3	60.8 59.9-61.8	-1.3	15	49.3 49.2-49.5	50.5 49.4-51.6	+1.2		
	H22		36	64.6 64.4-64.8	64.4 63.4-65.4	-0.2	14	43.3 43.1-43.5	44.0 42.9-45.1	+0.7		
	H21		33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8		
		H20	36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1		
		H19	36	71.9	70.3	-1.6	17	60.6	59.4	-1.2		

(2) 教科に関する調査の結果

小学校の平均正答率については、国語・算数の「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題のいずれの教科においても全国平均を下回った。さらに昨年度と比較すると、全国平均との差が広がっていることから、課題が見られる。

中学校の平均正答率については、国語の「知識」に関するA問題、「活用」に関するB問題とも全国平均を上回った。数学は、A問題、B問題とも全国平均を下回っており、課題が見られる。

(3) 児童生徒質問紙調査の結果

小・中学生ともに、はやね・はやおき・あさごはんや規則正しく生活することなど、基本的な生活習慣に関する質問に対しては、全国と比べて肯定的な回答をしている項目が多い。

長時間テレビやビデオ・DVDを見る割合は、小・中学生ともに昨年度より減少したが、小学生は全国値よりも高い。また、長時間テレビゲームをする割合は、小・中学生ともに昨年度よりも増加し、小学生においては全国値よりも高い。

家庭で授業の予習、復習をしている割合は、小・中学生ともに昨年度よりも増加し、全国値を上回っているが、平日に2時間以上勉強している中学生の割合は、全国値を下回っている。

小学生においては、国語、算数の授業の内容がよく分かるとしている割合は、昨年度よりも減少し、全国値よりも低い。また、中学生においては、国語は昨年度よりも減少しているが全国値よりも高い。数学は昨年度よりも増加しており、全国値と同値になった。

(4) 学校質問紙調査の結果

「全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行った」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに昨年度よりも増加しており、全国値よりも高い。

国語の指導において、書く習慣を付ける指導に取り組んでいる学校の割合は、小学校では昨年度より減少しており、全国値と比較しても低い。中学校では昨年度より増加しており、全国値と比較しても高い。また、読む習慣を付ける指導に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より減少しており、中学校は全国値よりも低い。

算数・数学の指導において、補充的な指導に取り組んでいる学校の割合は、小学校では昨年度より減少しており、中学校では増加しているが、小・中学校ともに全国値よりも高い。また、発展的な指導に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より減少しており、中学校は全国値よりも低い。

将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、小・中学校ともに昨年度よりも増加しており、全国値よりも高い。

7 今後の対応

全国学力・学習状況調査の結果においては、平成24年度までは改善の方向で進んできたが、平成25年度は全国平均を下回る結果となった。このことについては、震災による影響も推測されるが、今後、文部科学省から提供されるデータを活用してさらに詳細な分析をする必要がある。

大震災の影響で厳しい学習環境にある中でも、確かな学力の定着は、すべての子どもたちにとって必要なことであり、今回の結果を踏まえ、市町村教育委員会と連携しながら学力向上に向けた具体的な取組を進めていかなければならない。特に、児童生徒の学習習慣の形成、児童生徒の学習状況の把握、教員の教科指導力の向上の3点を重点として、学力向上のための緊急会議を開催し、認識を共有して施策の充実を図っていく。

各教科の調査の結果

1 小学校国語A問題

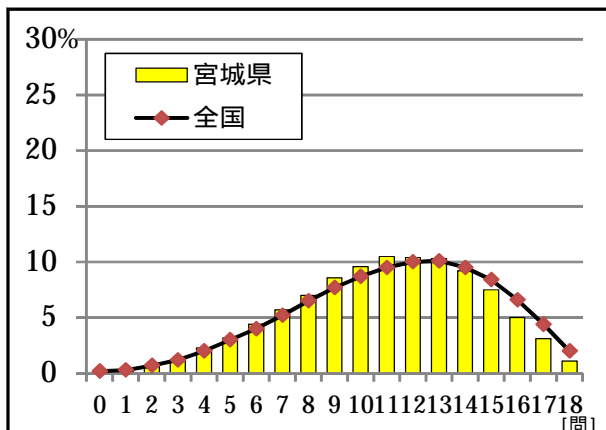
(1) 結果の概要

平均正答率は60.8%であり、全国平均を1.9ポイント下回っている。
 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことや接続語の役割を押さえながら、
 文を分析的に捉えることに課題がある。

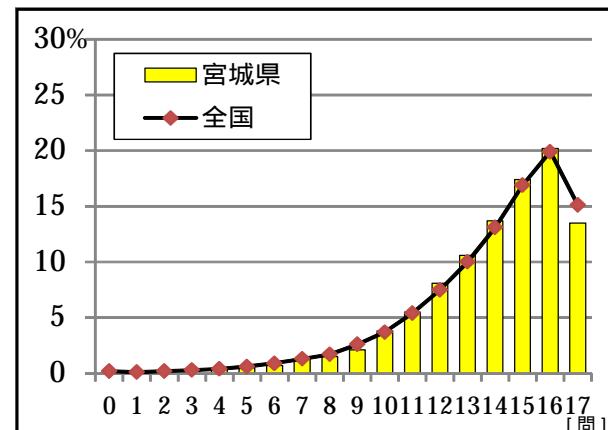
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
 全国と比較して、15問～18問(80%～100%程度)正答した児童の割合が低く、8問～11問
 (40%～60%程度)正答した児童の割合が高い状況が見られる。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】



【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で、平均正答率が、全国平均を上回る結果となり改善が図られている。「書くこと」の領域は依然として課題が見られる。
 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の平均正答率は、60.8%で全国平均を1.8ポイント下回った。

領域	話すこと・聞くこと						書くこと						読むこと						伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項						合計					
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	45.4	79.8	82.7	65.2	76.4	54.5	50.1	55.0	66.0	84.9	50.7	83.3	60.7	82.5	73.6	67.2	44.1	67.0	60.8	86.8	86.0	60.9	64.0	86.0	60.8	81.7	83.4	67.4	64.2	80.6
全国平均正答率(%)	43.2	79.4	83.2	66.0	76.1	56.6	53.0	57.5	67.7	85.4	53.3	85.3	60.1	82.1	74.1	68.7	44.5	67.3	62.6	86.3	85.8	64.2	65.2	86.8	62.7	81.6	83.3	69.9	65.4	81.7
全国との比較	2.2	0.4	-0.5	-2.8	0.3	-2.1	-2.9	-2.5	-1.7	-0.5	-2.6	-2.0	0.6	0.4	-0.5	-1.5	-0.4	-0.3	-1.8	0.5	0.2	-3.3	-1.2	-0.8	-1.9	0.1	0.1	-2.5	-1.2	-1.1

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したのとして適切なものを選択する問題の正答率は45.4%で、全国平均を2.2ポイント上回っている。[7]
書くこと	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って1文を2文に分けて書く問題の正答率は19.0%で、全国平均を4.4ポイント下回っている。[3二(1)] 「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く問題の正答率は67.9%で、全国平均を3.4ポイント下回っている。[4イ]
読むこと	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する問題の正答率は74.2%で、全国平均を2.5ポイント上回っている。[5イ]
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	学年別漢字配当表に示されている漢字「採集」を正しく読む問題の正答率は78.6%で、全国平均を13.7ポイント上回っている。[1-(3)] ことわざ(石の上にも三年)の意味として適切なものを選択する問題の正答率は77.1%で、全国平均を6.0ポイント上回っている。[2一] 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く問題「やく」「ていしゃ」「もうける」は、正答率が全てにおいて全国平均を8ポイント以上下回っている。[1二(1)～1二(3)] 文の定義を理解し、文のはじめの5文字を丸で囲む問題の正答率は28.7%で、全国平均を7.8ポイント下回っている。[3一] ことわざ(急がば回れ)の意味として適切なものを選択する問題の正答率は81.1%で、全国平均を5.0ポイント下回っている。[2二]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化と 国語の特質 に関する事項	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)		
1- (1)	漢字を読む (乗り物の差を買う)			56 (1)ウ (ア)		○		98.9	0.5	98.9	0.5	0.0	0.0	
1- (2)	漢字を読む (子孫のためにゴミをへらす)			56 (1)ウ (ア)		○		77.0	2.4	79.2	2.2	-2.2	0.2	
1- (3)	漢字を読む (めずらしい植物を採集する)			56 (1)ウ (ア)		○		78.6	1.4	64.9	3.1	13.7	-1.7	
1二 (1)	漢字を書く (魚をやく)			56 (1)ウ (ア)		○		64.2	7.7	72.4	5.6	-8.2	2.1	
1二 (2)	漢字を書く (バスがていしゃした)			56 (1)ウ (ア)		○		34.1	14.4	46.9	11.0	-12.8	3.4	
1二 (3)	漢字を書く (委員会をもうける)			56 (1)ウ (ア)		○		43.7	38.3	53.5	27.4	-9.8	10.9	
2-	ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)			34 (1)ア (イ)		○		77.1	0.8	71.1	1.2	6.0	-0.4	
2二	ことわざの意味として適切なものを選択する (急がば回れ)			34 (1)ア (イ)		○		81.1	1.3	86.1	1.2	-5.0	0.1	
3-	文のはじめの5文字を丸で囲む			12 (1)イ (カ)		○		28.7	22.3	36.5	20.2	-7.8	2.1	
3二 (1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	56 ウ		34 (1)イ (ク)		○		19.0	14.5	23.4	10.3	-4.4	4.2	
3二 (2)	「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する			34 (1)イ (ク)		○		82.5	3.6	83.3	3.5	-0.8	0.1	
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、 年代ごとの割合から分かることを書く	56 エ				○		71.1	14.1	72.4	11.9	-1.3	2.2	
4イ		56 エ				○		67.9	20.9	71.3	18.1	-3.4	2.8	
4ウ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、 全体から分かることを書く	56 エ					○	42.4	22.3	44.9	20.3	-2.5	2.0	
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する		56 ウ	56 (1)イ (キ)		○		62.7	7.6	61.1	9.2	1.6	-1.6	
5イ			56 ウ	56 (1)イ (キ)		○		74.2	8.5	71.7	10.3	2.5	-1.8	
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する		56 エ	34 (1)ア (ア)		○		45.2	12.1	47.5	14.4	-2.3	-2.3	
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	56 イ		56 (1)イ (ケ)		○		45.4	20.0	43.2	21.9	2.2	-1.9	

2 小学校国語B問題

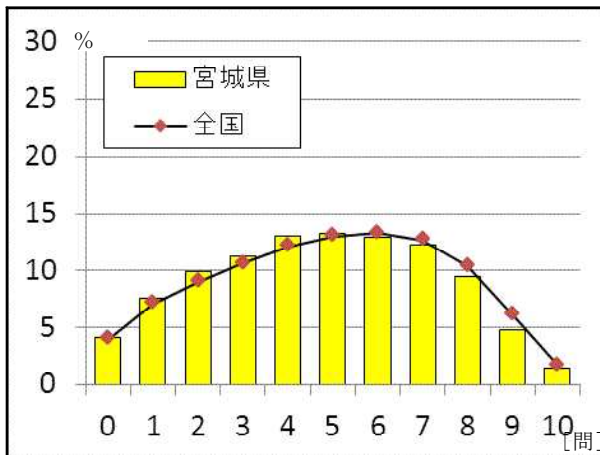
(1) 結果の概要

- 平均正答率は47.6%で、全国平均を1.8ポイント下回っている。
- 「書くこと」の領域において、目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くことや助言についての説明を書くことに課題が見られる。
- 無解答率20%以上だった設問は、全10問中3問あり、全国と同様の傾向が見られる。児童質問紙より、問題B-2-三における無回答の理由は「難しくて解答できなかった」が80.7%であり、その中の41.1%が「何を書いたらよいか分からない」と回答している。

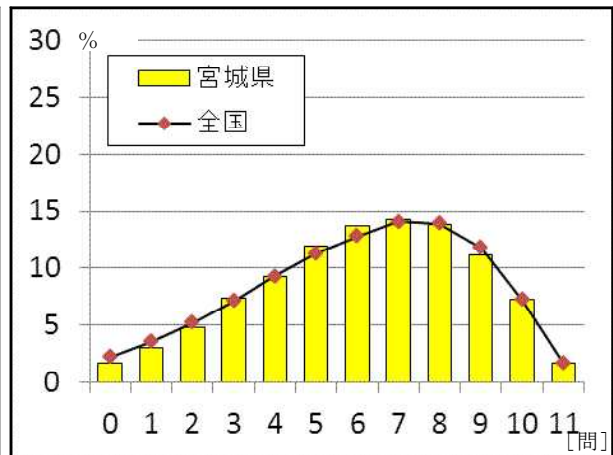
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 全国と比較して、6問(60%)以上正答している児童の割合が低い状況が見られ、全体的な底上げが課題である。
- 全ての設問において、正答率が全国平均よりも下回っている。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】



【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

- 全ての領域の平均正答率が、全国平均を下回っている。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の平均正答率は全国平均を下回ったが、全国平均とのかい離が0.1ポイントと小さくなっている。

領域	話すこと・聞くこと					書くこと					読むこと					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項					合計								
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20
県平均正答率(%)	63.1	62.6	75.0	61.1	72.7	67.6	41.7	47.0	92.2	12.7	48.0	60.5	46.1	55.6	73.1	55.6	46.6	56.5	63.7	54.7	72.3	58.5	79.4	47.6	55.9	77.7	49.8	49.2	61.0
全国平均正答率(%)	64.8	63.0	75.4	61.3	73.0	70.9	43.8	46.8	91.6	14.5	49.1	61.7	47.9	55.7	73.4	56.5	48.3	57.7	63.8	55.2	73.0	59.7	77.0	49.4	55.6	77.8	50.5	50.5	62.0
全国との比較	-1.7	-0.4	-0.4	-0.2	-0.3	-3.3	-2.1	0.2	0.6	-1.8	-1.1	-1.2	-1.8	-0.1	-0.3	-0.9	-1.7	-1.2	-0.1	-0.5	-0.7	-1.2	2.4	-1.8	0.3	-0.1	-0.7	-1.3	-1.0

(4) 設問別調査結果

○全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと

- ◆ 話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする問題の正答率は64.4%であり、全国平均を2.8ポイント下回っている。[1三]

書くこと

- ◆ 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く問題の正答率は21.6%であり、全国平均を4.6ポイント下回っている。[2二]

読むこと

- ◆ 2人の推薦文を比べて読み、推薦している理由を書く問題の正答率は43.1%であり、全国平均を2.2ポイント下回っている。[3-イ]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 解 答 率 の か い 離
		話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1ー	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	56 イ				○			77.3	1.2	78.8	1.2	-1.5	0.0
1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	56 イエ				○			47.5	1.2	48.5	1.2	-1.0	0.0
1三	川本さんの助言についての説明を書く	56 イエ	56 ウ				○		64.4	10.9	67.2	9.7	-2.8	1.2
2ー	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える		56 ウオカ		34 (1)イ (ク)	○			63.7	4.9	63.8	4.4	-0.1	0.5
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く		56 エオカ			○			21.6	16.1	26.2	13.3	-4.6	2.8
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く		56 エオカ				○		16.9	22.5	17.8	20.4	-0.9	2.1
3ーア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く			56 エカ		○			48.4	15.8	49.7	15.7	-1.3	0.1
3ーイ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く			56 エカ		○			43.1	30.3	45.3	28.8	-2.2	1.5
3ーウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く			56 エカ		○			42.7	32.2	44.6	30.6	-1.9	1.6
3二	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する			56 イカ		○			50.4	9.7	51.9	10.6	-1.5	-0.9

児童質問紙

質 問 事 項	宮城県	全国	かい離	
国語B-2-三の問題(あとの条件に合わせて書く100字の作文)の解答を書きましたか。	77.3	78.3	-1.0	
国語B-2-三の問題について解答しなかった理由は何ですか。 (解答しなかった児童のみ)	1 難しくて解答できなかった。	80.7	79.0	1.7
	2 文章で書くので解答しようと思わなかった。	6.7	7.1	-0.7
	3 時間が足りなくなった。	11.4	12.5	-1.1
国語B-2-三の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。(難しくて解答できなかった児童のみ)	1 問題文の意味が分からなかった	31.8	31.0	0.8
	2 何を書いたらよいか分からなかった	41.1	42.3	-1.2
	3 考えがまとまらなかった。	19.1	18.4	0.7
	4 自信がなかった。	3.4	2.9	0.5

3 小学校算数 A 問題

(1) 結果の概要

平均正答率は76.3%であり、全国平均を0.9ポイント下回っている。また、全国平均とのかい離は平成24年度より0.3ポイント大きくなっており、課題が見られる。複数の情報から必要な情報を取り出して面積を求める問題、直接測定できない部分の長さを求める問題、割合の問題で、これまで同様に課題が見られ、全国平均を下回る結果となっている。

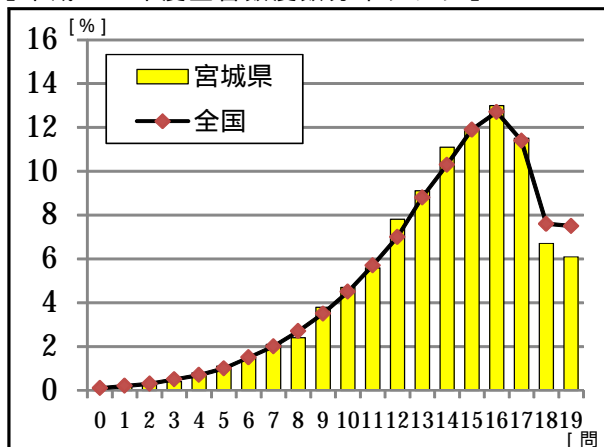
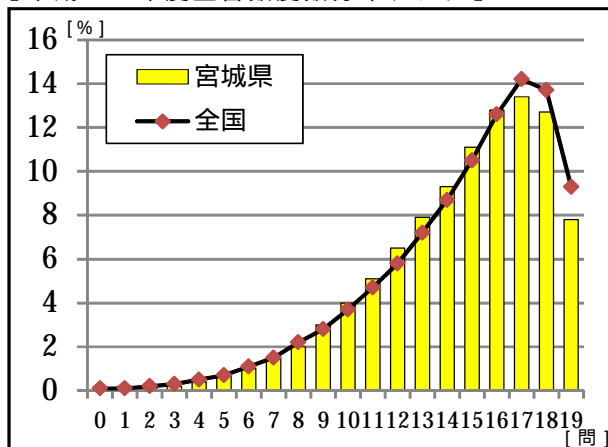
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

17問(90%程度)以上正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られ、10問～16問(50%～85%程度)正答した児童の割合は、全国と比べて高くなっている。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「数と計算」「数量関係」の領域で、平均正答率が全国平均を下回っているものの、全国平均とのかい離は、平成24年度よりもそれぞれ0.2ポイント、1.8ポイント小さくなっている。

「量と測定」「図形」の領域で、平均正答率が全国平均を下回っており、全国平均とのかい離も、平成24年度より大きくなり、課題が見られる。

領域	数と計算															量と測定					図形					数量関係					合計				
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19					
県平均正答率(%)	80.0	74.6	75.0	81.2	76.2	79.6	66.7	71.0	72.0	67.4	56.1	85.1	70.9	73.0	83.7	81.1	71.6	86.3	82.7	71.9	63.4	63.0	69.8	74.0	76.3	72.7	73.8	77.5	71.3	81.1					
全国平均正答率(%)	80.2	75.0	74.1	82.8	76.8	81.5	68.3	71.7	74.1	78.5	56.2	86.1	72.5	72.6	83.1	81.3	72.7	86.1	83.4	74.4	65.7	64.2	72.4	75.4	77.2	73.3	74.2	78.7	72.2	82.1					
全国との比較	-0.2	-0.4	0.9	-1.6	-0.6	-1.9	-1.6	-0.7	-2.1	-1.1	-0.1	-1.0	-1.6	0.4	0.6	-0.2	-1.1	0.2	-0.7	-2.5	-2.3	-1.2	-2.6	-1.4	-0.9	-0.6	-0.4	-1.2	-0.9	-1.0					

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と計算】

小数の加法の計算問題の正答率は78.1%であり、全国平均を6.8ポイント上回っている。[1(2)]

示された位までの概数にする際、一つ下の位の数値を四捨五入して処理する方法についての理解の問題の正答率は54.5%であり、全国平均を5.7ポイント下回っている。[2]

【量と測定】

単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味についての理解の問題の正答率は48.0%であり、全国平均を2.0ポイント下回っている。[4]

1 a (1アール)の面積と等しい正方形の辺の長さについての理解の問題の正答率は49.9%であり、全国平均を2.4ポイント下回っている。[5(2)]

上底3 cm, 下底8 cm, 高さ4 cm, 斜辺5 cmの台形の面積を求める式と答えを書く問題の正答率は71.2%であり、全国平均を2.1ポイント下回っている。[5(3)]

【図形】

三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件についての理解の問題の正答率は58.1%であり、全国平均を2.6ポイント下回っている。[6]

円柱について、底面の円周の長さとは展開図の側面の辺の長さとは対応していることについての理解の問題の正答率は63.7%であり、全国平均を2.6ポイント下回っている。[7(2)]

【数量関係】

割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係についての理解の問題の正答率は74.3%であり、全国平均を2.4ポイント下回っている。[8(1)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 解 答 率 の か い 離	
		数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)			
1 (1)	$243 - 65$ を計算する	3A (2)イ						○		88.8	0.2	88.2	0.2	0.6	0.0
1 (2)	$0.75 + 0.9$ を計算する	4A (5)イ						○		78.1	0.3	71.3	0.3	6.8	0.0
1 (3)	9.3×0.8 を計算する	5A (3)イ						○		82.1	0.3	83.7	0.4	-1.6	-0.1
1 (4)	$6 \div 5$ を計算する	4A (5)ウ						○		88.7	1.3	88.3	1.4	0.4	-0.1
1 (5)	$16 - (6 + 3)$ を計算する				4D (2)ア			○		94.4	0.8	94.4	0.8	0.0	0.0
1 (6)	$2と5 \div 7 + 1と1 \div 7$ を計算する	4A (6)イ						○		90.9	1.9	88.9	2.1	2.0	-0.2
1 (7)	$2 \div 9 \times 4$ を計算する	5A (4)カ						○		87.3	2.2	89.5	1.7	-2.2	0.5
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	4A (2)イ						○		54.5	2.1	60.2	1.9	-5.7	0.2
3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	4A (3)ウ						○		69.4	1.9	71.6	1.8	-2.2	0.1
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ		5B (4)ア					○		48.0	0.8	50.0	0.8	-2.0	0.0
5 (1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ		3B (2)					○		97.6	0.4	97.4	0.4	0.2	0.0
5 (2)	1a (1アール) と等しい面積になる正方形の一辺の長さを選ぶ		4B (1)アイ					○		49.9	1.1	52.3	1.1	-2.4	0.0
5 (3)	上底3cm、下底8cm、高さ4cm、斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く		5B (1)ア					○		71.2	2.1	73.3	2.1	-2.1	0.0
6	三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ			5C (1)イ				○		58.1	0.9	60.7	1.0	-2.6	-0.1
7 (1)	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く			5C (2)ア				○		90.8	2.0	90.6	2.1	0.2	-0.1
7 (2)	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さを求める式と答えを書く			5C (1)エ 5C (2)ア				○		63.7	6.2	66.3	5.7	-2.6	0.5
8 (1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ				5D (3)			○		74.3	1.9	76.7	2.2	-2.4	-0.3
8 (2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ				5D (3)			○		76.4	2.3	76.9	2.8	-0.5	-0.5
9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く				3D (3)ア			○		85.7	2.1	85.7	2.8	0.0	-0.7

4 小学校算数B問題

(1) 結果の概要

平均正答率は56.5%であり、全国平均を1.9ポイント下回っている。全国平均とのかい離は昨年度より1.1ポイント大きくなっており、課題が見られる。

平均正答率で全国平均を上回った問題はなかった。特に、記述式の問題は全国平均とのかい離が大きい傾向にあり、無解答率10%以上の設問は5問中3問であった。児童質問紙より、問題B-4-(1)における無解答の理由は「難しくて解答できなかった」が76.3%であり、その中の40.2%が「問題文の意味が分からなかった」と回答しており、問題文自体を理解する力に課題がある。

言葉の式に数値を当てはめて、計算の順序についてのきまりを基に計算することに課題がある。

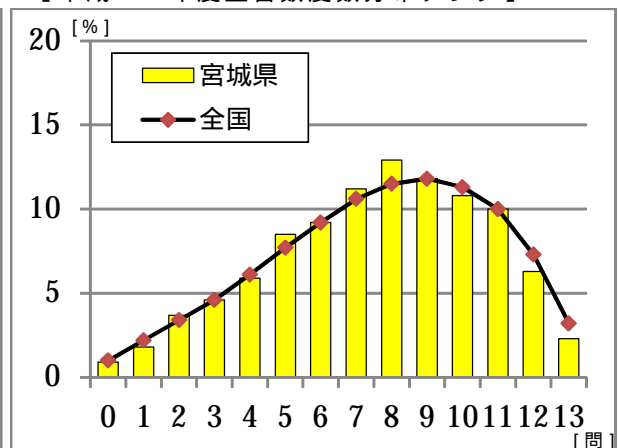
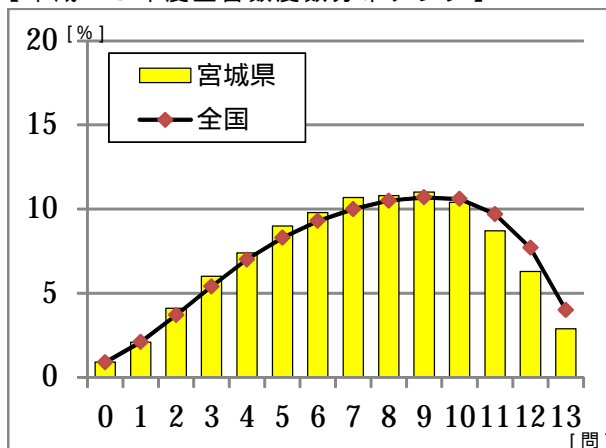
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

全国と比べ、11問(85%程度)以上正答した児童の割合は低い状況が見られる。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

全ての領域で全国平均を下回っており、平成24年度より全国平均とのかい離も大きくなっている。特に、「量と測定」「数量関係」の領域においては、全国平均とのかい離が、2.0ポイントあり、課題が見られる。

領域	数と計算					量と測定					図形					数量関係					合計									
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	46.7	52.5	54.8	55.0	64.3	55.0	54.0	60.2	30.6	58.7	51.9	55.7	78.2	63.2	40.3	54.6	59.9	71.0	52.9	48.1	52.8	57.1	43.8	63.6	56.5	58.1	47.8	54.0	50.4	61.4
全国平均正答率(%)	48.3	54.0	55.8	55.8	65.2	58.9	56.0	60.8	33.3	59.9	53.3	58.0	79.3	63.3	42.0	56.4	61.2	72.5	54.9	49.5	54.3	56.8	44.9	65.5	58.4	58.9	49.3	54.8	51.6	63.6
全国との比較	-1.6	-1.5	-1.0	-0.8	-0.9	-3.9	-2.0	-0.6	-2.7	-1.2	-1.4	-2.3	-1.1	-0.1	-1.7	-1.8	-1.3	-1.5	-2.0	-1.4	-1.5	-0.3	-1.1	-1.9	-1.9	-0.8	-1.5	-0.8	-1.2	-2.2

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と計算】

三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述する問題の正答率は48.6%で、全国平均を2.2ポイント下回っている。

[1 (2)]

【量と測定】

示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述する問題の正答率は38.7%で、全国平均を4.0ポイント下回っている。[3 (2)]

【図形】

長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択する問題(量と測定の領域を兼ねた問題)の正答率は53.4%で、全国平均を2.9ポイント下回っている。

[3 (3)]

【数量関係】

示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができるかどうかをみる問題の正答率は45.7%で、全国平均を4.9ポイント下回っている。[4 (3)]

表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述する問題(量と測定の領域を兼ねた問題)の正答率は32.3%で、全国平均を2.9ポイント下回っている。[2 (3)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県 (公立)		全国 (公立)		正 答 率 の か い 離	無 解 答 率 の か い 離
		数 と 計 算	量 と 測 定	図 形	数 量 関 係	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1 (1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	1A (2)イ			4D (4)ア		○		49.6	3.5	51.0	3.1	-1.4	0.4
1 (2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く	3A (2)イ 3A (3)イ						○	48.6	1.0	50.8	0.9	-2.2	0.1
2 (1)	示された式の値が何を表しているのかを書く		5B (3)ア		4D (2)ア		○		50.0	4.0	51.7	3.4	-1.7	0.6
2 (2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ		5B (3)ア		4D (2)ア		○		74.4	1.2	75.6	1.3	-1.2	-0.1
2 (3)	示された実験の結果から、ふりこの長さとして10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く		2B (1)ア 3B (3)ア		5D (1)ア			○	32.3	22.5	35.2	19.0	-2.9	3.5
3 (1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ		4B (1)イ 5B (1)ア	2C (1)イ 5C (1)イ			○		87.1	0.7	87.3	0.8	-0.2	-0.1
3 (2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く		5B (1)ア					○	38.7	17.8	42.7	15.6	-4.0	2.2
3 (3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ		5B (1)ア	4C (1)イ			○		53.4	3.7	56.3	3.6	-2.9	0.1
4 (1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	4A (2)ア 4A (3)イ	5B (4)ア					○	41.8	12.0	43.1	11.4	-1.3	0.6
4 (2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す			4C (3)			○		94.2	2.4	94.2	2.6	0.0	-0.2
4 (3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く				4D (2) アイ		○		45.7	7.7	50.6	7.4	-4.9	0.3
5 (1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ				3D (3)ア 4D (4)イ		○		75.8	4.4	76.1	5.1	-0.3	-0.7
5 (2)	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く				5D (3) 5D (4)			○	42.2	7.6	44.4	7.8	-2.2	-0.2

児童質問紙

質 問 事 項	宮城県	全国	かい離	
算数B-4-(1)の問題の解答を書きましたか。	84.7	85.5	-0.8	
算数B-4-(1)の問題について解答しなかった理由は何ですか。 (解答しなかった児童のみ)	1 難しくて解答できなかった。	76.3	73.1	3.2
	2 書く分量が多く解答しようと思わなかった。	11.6	10.7	0.9
	3 時間が足りなくなった。	10.8	14.1	-3.3
算数B-4-(1)の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。(難しくて解答できなかった児童のみ)	1 問題文の意味が分からなかった	40.2	38.9	1.3
	2 求める方法が分からなかった	31.2	32.9	-1.7
	3 考えがまとまらなかった。	17.8	16.2	1.6
	4 自信がなかった。	4.3	5.1	-0.8

5 中学校国語A問題

(1) 結果の概要

平均正答率は77.6%であり、全国平均を1.2ポイント上回る結果となっている。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての領域において全国平均を上回り、基礎的・基本的な内容に関する知識・技能について、改善が図られている。

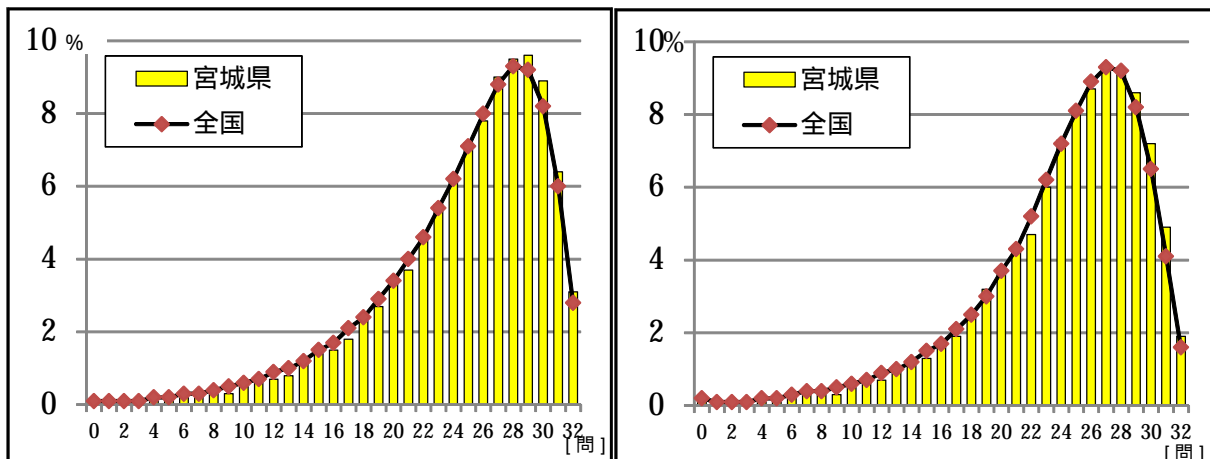
(2) 正答数分布状況

正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

27問(80%程度)以上正答した生徒の割合が全国と比べて高く、正答数が21問(65%程度)以下の生徒の割合は全国より低くなっており、全体的に底上げが図られている。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】

【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての領域において全国平均を上回っている。特に、「書くこと」と「読むこと」の領域ではそれぞれ全国平均を1.6ポイント上回っている。

領域	話すこと・聞くこと						書くこと					読むこと					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項					合計								
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	78.6	89.4	75.6	87.0	80.3	90.3	66.1	89.0	71.6	65.8	55.8	74.1	81.6	66.7	77.9	76.7	71.2	79.9	78.6	74.7	76.8	77.4	75.4	78.2	77.6	76.2	76.2	78.1	73.8	80.8
全国平均正答率(%)	77.6	87.7	74.2	86.8	80.1	90.1	64.5	88.1	71.1	64.6	55.2	73.4	80.0	65.4	76.6	75.7	71.0	80.6	77.5	73.7	75.8	76.0	75.2	80.3	76.4	75.1	75.1	77.0	73.6	81.6
全国との比較	1.0	1.7	1.4	0.2	0.2	0.2	1.6	0.9	0.5	1.2	0.6	0.7	1.6	1.3	1.3	1.0	0.2	-0.7	1.1	1.0	1.0	1.4	0.2	-2.1	1.2	1.1	1.1	1.1	0.2	-0.8

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと

話し合いでの司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する問題の平均正答率は91.9%であり、全国平均を1.4ポイント上回っている。[1ー]

書くこと

見出しを変更した理由として適切なものを選択する問題の平均正答率は60.7%であり、全国平均を2.6ポイント上回っている。[3ー]

読むこと

筆者が述べたものとして適切なものを選択する問題の平均正答率は78.7%であり、全国平均を2.7ポイント上回っている。[3ー]

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文脈に即した適切な語句(友達に将来の「抱負」を話す)を選択する問題の平均正答率は70.4%で、全国平均を7.7ポイント上回っている。[8三イ]

比喩を用いた表現として「かすみ」や「雲」のように見えたものを詩中から抜き出す問題の平均正答率は56.0%で、全国平均を3.6ポイント上回っている。[8七1]

歴史的仮名遣い(にほふ)を現代仮名遣いに直す問題の平均正答率は77.7%で、全国平均を5.7ポイント下回っている。[8七2]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化と 国語の特質 に関する事項	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)		
1-1	話し合いでの司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する	1オ				○			91.9	0.1	90.5	0.2	1.4	-0.1
1-2	話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する	1オ				○			55.4	0.1	54.7	0.2	0.7	-0.1
2-1	「おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもえる」と筆者が述べたものとして適切なものを選択する			1ウ		○			78.7	0.1	76.0	0.3	2.7	-0.2
2-2	「あの枯れ枝の梢を……うれしげであることだろう。」と筆者が感じた理由を説明したものとして適切なものを選択する			2イ		○			88.2	0.3	86.7	0.5	1.5	-0.2
3-1	見出しを変更した理由として適切なものを選択する		2エ			○			60.7	0.6	58.1	0.8	2.6	-0.2
3-2	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く		2ウ				○		50.9	5.9	48.8	6.0	2.1	-0.1
4-1	「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として適切なものを選択する			1エ		○			86.9	0.1	84.8	0.3	2.1	-0.2
4-2	前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する			1カ		○			71.7	0.1	70.1	0.4	1.6	-0.3
5-1	米の断面図に入る言葉として適切なものを選択する			1ア		○			88.0	0.2	86.8	0.4	1.2	-0.2
5-2	「小麦はそういうわけにはいきません」と述べている理由として適切なものを選択する			1イ		○			76.2	0.3	75.6	0.4	0.6	-0.1
6-1	取材の仕方の説明として適切なものを選択する	2ア				○			85.8	0.5	84.6	0.7	1.2	-0.2
6-2	カードを使って話す際に使用する言葉の組合せとして適切なものを選択する	2イ				○			81.4	0.6	80.7	0.9	0.7	-0.3
7-1	比較の対象が明確に分かるように書く		2エ				○		75.7	3.9	73.6	4.4	2.1	-0.5
7-2	内容に応じて第二段落を二つに分ける		1イ			○			77.2	0.9	77.5	1.1	-0.3	-0.2
8-1	漢字を書く(大きなまぼくをもつ)			2(1)ウ(4)		○			87.6	3.0	87.5	3.0	0.1	0.0
8-2	漢字を書く(おやつをまんとウに分け合う)			2(1)ウ(4)		○			60.7	10.9	59.3	11.9	1.4	-1.0
8-3	漢字を書く(着物に合わせてオビを選ぶ)			2(1)ウ(4)		○			67.1	13.7	66.7	15.2	0.4	-1.5
8-2-1	漢字を読む(墨論を唱える)			2(1)ウ(7)		○			93.8	2.3	93.2	2.7	0.6	-0.4
8-2-2	漢字を読む(社会を風刺する)			2(1)ウ(7)		○			71.1	4.4	70.6	4.9	0.5	-0.5
8-2-3	漢字を読む(山々が連なる)			2(1)ウ(7)		○			92.9	1.9	89.4	2.7	3.5	-0.8
8-3ア	適切な語句を選択する(今年の夏の暑さには閉口した)			2(1)イ(4)		○			49.4	1.6	46.6	1.7	2.8	-0.1
8-3イ	適切な語句を選択する(友達に将来の抱負を話す)			1(1)イ(9)		○			70.4	0.5	62.7	0.8	7.7	-0.3
8-3ウ	適切な語句を選択する(あこがれの仕事に就く)			2(1)イ(4)		○			97.3	0.4	96.3	0.7	1.0	-0.3
8-3エ	適切な語句を選択する(直前になって、二の足を踏む)			1(1)イ(9)		○			85.3	0.6	84.8	0.9	0.5	-0.3
8-3オ	適切な語句を選択する(にわかには強い雨が降り出し、人々はあわてた)			1(1)イ(9)		○			82.7	0.6	81.3	0.9	1.4	-0.3
8-3カ	適切な語句を選択する(彼には、いくら言っても「馬の耳に念仏」で効果がない)			1(1)イ(9)		○			90.7	0.8	90.2	1.1	0.5	-0.3
8-4	行書を楷書で書く			1(2)イ			○		96.9	1.2	96.4	1.4	0.5	-0.2
8-5-1	「母がイギリスに帰りました。」という言い方が正しい理由として適切なものを選択する			2(1)イ(7)		○			70.0	0.8	69.8	1.0	0.2	-0.2
8-5-2	適切な敬語を選択する			2(1)イ(7)		○			92.8	0.7	91.3	1.0	1.5	-0.3
8-6	「すさまじい」と修飾、被修飾の関係にあるものを選択する			2(1)イ(9)		○			72.5	1.1	73.4	1.5	-0.9	-0.4
8-7-1	「かすみ」や「雲」のように見えたものを本文中から抜き出す			1(1)イ(9)			○		56.0	3.4	52.4	3.7	3.6	-0.3
8-7-2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(にほふ)			1(1)ア(7)			○		77.7	6.9	83.4	5.5	-5.7	1.4

6 中学校国語B問題

(1) 結果の概要

平均正答率が68.6%であり、全国平均を1.2ポイント上回っている。

「書くこと」「読むこと」の領域の問題の平均正答率が、全国平均を上回っている。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関連する問題の平均正答率が、全国平均をやや下回っている。

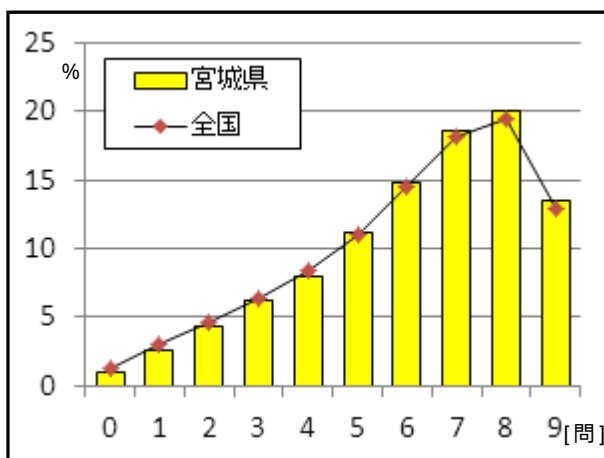
全ての設問において、無解答率が全国平均を下回っている。生徒質問紙より、問題B-3-三における無回答の理由は「難しく解答できなかった」が50.3%であり、その中の37.7%が「漢字の特徴は分かったが、注意点やコツについての考えがまとまらなかった。」と回答している。

(2) 正答数分布状況

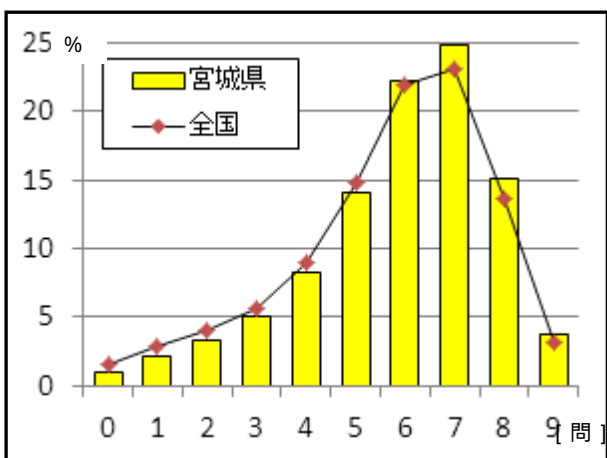
正答数の分布は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

5問(60%程度)以上正答した生徒の割合が全国と比べて高く、特に8問(90%程度)以上正答した生徒の割合が高くなっている状況が見られる。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】



【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「読むこと」の領域の問題全てにおいて全国平均を上回っている。

「書くこと」の領域の問題の平均正答率は全国平均を1.2ポイント上回っているが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域と関連させた問題においては、全国平均を0.4ポイント下回っている。

[%]

領域	話すこと・聞くこと					書くこと					読むこと					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項					合計									
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)		61.9	47.5			81.8	63.9	59.1	62.8	75.0	48.1	63.4	69.2	64.0	68.8	76.4	61.8	69.8	64.2				63.1	67.4	68.6	65.5	66.7	76.4	61.8	71.0
全国平均正答率(%)		59.9	45.6			81.3	62.7	57.4	60.2	72.5	46.7	64.4	67.8	61.5	67.5	74.5	60.8	70.6	64.6				60.5	68.5	67.4	63.3	65.3	74.5	60.8	72.0
全国との比較		2.0	1.9			0.5	1.2	1.7	2.6	2.5	1.4	-1.0	1.4	2.5	1.3	1.9	1.0	-0.8	-0.4				2.6	-1.1	1.2	2.2	1.4	1.9	1.0	-1.0

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと(設問なし)

書くこと

「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く問題の平均正答率が59.4%であり、全国平均を1.5ポイント上回っている。[1三]

文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く問題の平均正答率が68.2%であり、全国平均を2.5ポイント上回っている。[2三]

読むこと

段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選択する問題の平均正答率は73.8%であり、全国平均を2.1ポイント上回っている。[1一]

新聞記事の書き方の特徴を説明したものとして適切なものを選択する問題の平均正答率は63.0%であり、全国平均を2.0ポイント上回っている。[3一]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				問題形式			宮城県 (公立)		全国(公立)		正答率 の かい離	無解答率 の かい離	
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化と 国語の特質 に関する事項	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)	正答率 (%)	無解答率 (%)			
1一	段落相互の関係について説明したものと して適切なものを選択する			1 エ				○		73.8	0.3	71.7	0.4	2.1	-0.1
1二	図が示す内容を説明したものと して適切なものを選択する			2 イ				○		62.9	0.2	62.7	0.4	0.2	-0.2
1三	「かるた」について分かったことを基に、 さらに調べたいことと調べる方法を具体的に 書く		1 ア	1 カ					○	59.4	2.3	57.9	2.8	1.5	-0.5
2一	エヌ氏の生活について説明した言葉を本 文中から抜き出す			1 ウ					○	77.8	2.2	77.5	2.6	0.3	-0.4
2二	表現の効果を説明したものと して適切なものを選択する			1 エ				○		76.7	0.3	75.6	0.5	1.1	-0.2
2三	文章を読んで感じたことや考えたことを 具体的に書く		1 ウ	1 オ					○	68.2	9.9	65.7	11.3	2.5	-1.4
3一	新聞記事の書き方の特徴を説明したも のとして適切なものを選択する			1 エ				○		63.0	0.6	61.0	0.9	2.0	-0.3
3二	資料がどのような疑問を解決するための参 考になるのかを説明したものと して適切なものを選択する			1 カ				○		71.5	0.9	70.2	1.2	1.3	-0.3
3三	間違えやすい漢字を学習する際の注意 点やコツを、漢字の特徴を取り上げて 説明する		2 ウ		2(1) ウ(イ)				○	64.2	5.2	64.6	5.4	-0.4	-0.2

生徒質問紙

質 問 事 項	宮城県	全国	かい離	
国語B-3-三の問題の解答を書きましたか。	87.9	87.0	0.9	
国語B-3-三の問題について解答しなかつた理由は何ですか。 (解答しなかつた児童のみ)	1 難しくて解答できなかつた。	50.3	52.7	-2.4
	2 文章で書く問題で解答しようと思わ なかつた。	22.0	27.1	-5.1
	3 時間が足りなくなつた。	26.1	18.5	7.6
国語B-3-三の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのよ うに考えましたか。(難しくて解答できなかつた児童のみ)	1 問題文の意味が分からなかつた	27.4	33.3	-5.5
	2 二つの漢字の共通点や相違点が分 からなかつた。	25.7	23.1	2.6
	3 漢字の特徴は分かつたが、注意 点やコツについての考えがま とまらなかつた。	37.7	34.1	3.6
	4 考えはまとまつたが、解答に自信 がなかつた。	7.3	6.4	0.9

7 中学校数学A問題

(1) 結果の概要

平均正答率は62.2%であり、全国平均を1.5ポイント下回っている。全国平均とのかい離は、平成24年度よりさらに0.2ポイント大きくなり課題がある。

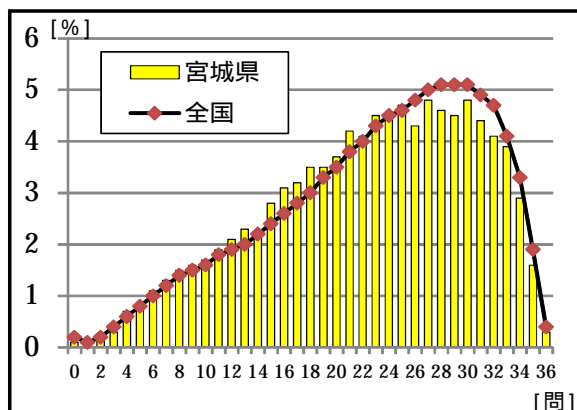
「数と式」の領域では、正負の数の計算や二元一次方程式の解の意味の理解、「図形」の領域では、空間における2直線の位置関係や平行四辺形になるための条件の理解、「関数」の領域では、比例の表とグラフの関係の理解、「資料の活用」の領域では、簡単な場合について確率を求めることに、それぞれ課題が見られる。

(2) 正答数分布状況

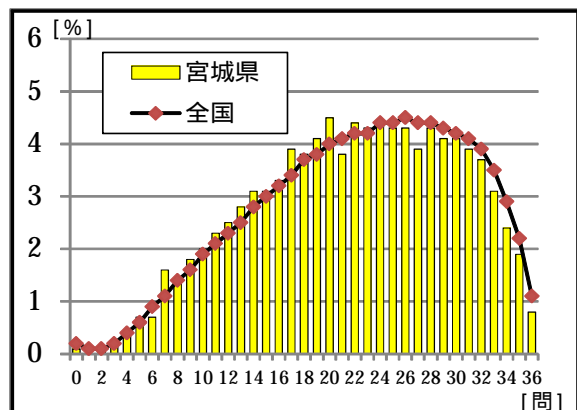
正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られる。

平成25年度は、25問(70%程度)以上正答した生徒の割合が全国と比べ低い状況となっている。

【平成25年度正答数度数分布グラフ】



【平成24年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

全ての領域で全国平均を下回っている。特に「図形」と「関数」、「資料の活用」の領域では、全国平均とのかい離が大きくなり、課題が見られる。

[%]

領域	数と式						図形					関数		資料の活用					数量関係					合計							
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
県平均正答率(%)	71.7	66.1	74.7	66.0	65.4	72.4	63.2	66.2	63.8	64.8	61.6	73.7	57.0	45.1	50.3	54.6	55.7	57.3	64.4	62.2	60.8	64.4	62.1	61.4	70.3						
全国平均正答率(%)	72.7	67.5	75.2	67.3	68.0	74.4	64.6	66.7	64.3	64.6	62.7	75.5	58.7	46.8	52.1	54.3	56.2	58.6	65.9	63.7	62.1	64.6	62.7	63.1	71.9						
全国との比較	-1.0	-1.4	-0.5	-1.3	-2.6	-2.0	-1.4	-0.5	-0.5	0.2	-1.1	-1.8	-1.7	-1.7	-1.3	0.3	-0.5	-1.3	-1.5	-1.5	-1.3	-0.2	-0.6	-1.7	-1.6						

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と式】

正負の数について()を含む計算をする問題の正答率は85.5%であり、全国平均を2.0ポイント下回っている。[1(2)]

二元一次方程式の解の意味の理解についての問題の正答率は72.7%であり、全国平均を4.8ポイント下回っている。[3(2)]

【図形】

空間における2直線の位置関係の理解についての問題の正答率は51.1%であり、全国平均を5.6ポイント下回っている。[5(1)]

平行四辺形になるための条件の理解についての問題の正答率は41.7%であり、全国平均を6.0ポイント下回っている。[7(3)]

【関数】

比例の表とグラフの関係の理解についての問題の正答率は47.8%であり、全国平均を4.7ポイント下回っている。[10(3)]

【資料の活用】

簡単な場合の確率を求める問題の正答率は46.5%であり、全国平均を7.3ポイント下回っている。[15(2)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	$5/8 \times 3/4$ を計算する	小6(1)イ					○		82.0	2.4	83.2	2.3	-1.2	0.1
1(2)	$5 \times (4-7)$ を計算する	1(1)ウ					○		85.5	1.1	87.5	1.2	-2.0	-0.1
1(3)	四則計算のうち、整数の範囲で閉じていない計算を選ぶ	1(1)ノ				○			76.1	0.3	75.8	0.4	0.3	-0.1
1(4)	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	1(1)ア,エ					○		87.3	4.6	84.8	5.3	2.5	-0.7
2(1)	$2(5x+9y)-5(2x+3y)$ を計算する	2(1)ア					○		80.6	2.2	81.7	2.3	-1.1	-0.1
2(2)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a+b)$ が表す量を選ぶ	1(2)エ				○			85.1	0.2	86.9	0.4	-1.8	-0.2
2(3)	a mの重さが b gの針金の1 mの重さを、 a 、 b を用いた式で表す	2(1)イ					○		32.2	18.9	32.3	18.4	-0.1	0.5
2(4)	等式 $2x+3y=9$ を y について解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	2(1)ウ				○			73.8	0.5	74.0	0.8	-0.4	-0.3
3(1)	$3x+7=9$ を解く	1(3)ウ					○		72.0	7.0	73.7	6.4	-1.7	0.6
3(2)	$2x+y=8$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ	2(1)ア				○			72.7	1.3	77.5	1.2	-4.8	0.1
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	2(2)ウ					○		81.4	9.7	82.7	9.2	-1.3	0.5
4(1)	長方形の2倍の拡大図をかく		小6(1)ア				○		88.6	1.4	88.4	1.8	0.2	-0.4
4(2)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	1(1)ア				○			48.5	0.8	48.9	1.0	-0.4	-0.2
4(3)	$\triangle AOC$ を、点 O を回転の中心として時計回りに回転移動して $\triangle DEC$ にぴったり重なるとき、回転角の大きさを求める	1(1)イ					○		54.8	3.3	56.0	3.5	-1.2	-0.2
5(1)	立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ	1(2)ア				○			51.1	0.9	56.7	1.1	-5.6	-0.2
5(2)	与えられた見取図から、その立体の投影図を選ぶ	1(2)イ				○			85.2	0.4	85.0	0.8	0.2	-0.2
5(3)	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	1(2)ウ				○			48.1	0.6	47.1	0.9	1.0	-0.3
6(1)	平行線の間の三角形について、その内角 x 、 y の和の値を選ぶ	2(1)ア				○			77.2	1.0	78.8	1.0	-1.6	0.0
6(2)	五角形のある頂点における外角の大きさを求める	2(1)イ					○		53.3	6.3	55.4	6.0	-2.1	0.3
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	2(2)ア				○			78.4	0.6	78.2	0.7	-0.8	-0.1
7(2)	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	2(2)イ,ウ					○		68.1	14.1	68.5	14.1	-0.4	0.0
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	2(2)ウ				○			41.7	1.0	47.7	1.1	-6.0	-0.1
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	2(2)イ,ウ				○			63.6	0.8	64.1	1.0	-0.5	-0.2
9	y が x の関数である事象を選ぶ			1(1)ア		○			14.1	1.3	13.8	1.6	0.3	-0.3
10(1)	座標平面上の点の座標を求める			1(1)ウ		○			76.2	4.2	78.9	4.4	-2.7	-0.2
10(2)	比例定数が3である比例の式を選ぶ			1(1)エ		○			62.9	1.2	64.7	1.3	-1.8	-0.1
10(3)	比例の表からグラフを選ぶ			1(1)エ		○			47.8	1.4	52.5	1.5	-4.7	-0.1
10(4)	反比例 $y=6/x$ のグラフを完成する			1(1)エ		○			67.7	7.9	71.0	6.8	-3.3	1.1
11(1)	一次関数 $y=2x-1$ について、 x の値が3のときの y の値を求める			2(1)イ		○			81.4	8.9	81.9	8.5	-0.5	0.4
11(2)	一次関数の表から変化の割合を求める			2(1)イ		○			39.8	27.1	42.4	23.7	-2.6	3.4
12	一次関数の事象を式で表す			2(1)ア		○			55.5	18.4	54.3	18.4	1.2	0.0
13	二元一次方程式 $y=3$ のグラフを選ぶ			2(1)ウ		○			67.9	1.5	69.0	1.6	-1.1	-0.1
14(1)	生徒35人がハンドボール投げを行い、記録の平均値が21mだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ				1(1)ア	○			77.8	1.9	77.4	1.8	0.4	0.1
14(2)	6月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める				1(1)ア	○			20.5	28.0	22.8	25.1	-2.3	2.9
15(1)	1枚の硬貨を複数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ				2(1)ア	○			35.5	2.6	33.1	2.7	2.4	-0.1
15(2)	大小2つものさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める				2(1)ア	○			46.5	13.2	53.8	12.9	-7.3	0.3

8 中学校数学B問題

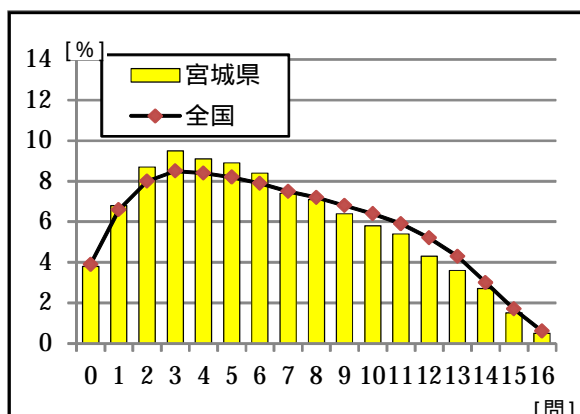
(1) 結果の概要

平均正答率は39.7%であり、全国平均を1.8ポイント下回っており、課題が見られる。
 「数と式」と「関数」の領域で全国平均を下回っている。特に「数と式」の領域では、全国平均を5.6ポイント下回る結果となった。また、事象を多面的に見る問題において、全国平均とのかい離が大きくなり、課題が見られる。無解答率 20 %を超える設問は、全国同様全 16 問中 7 問あった。生徒質問紙より、問題 B - 4 - (1)における無解答の理由では、約 70 %が「難しく解答できなかった」と回答しており、このうちの約 50 %は「問題文の意味が分からなかった」という理由であり、問題文を理解する力に課題が見られる。

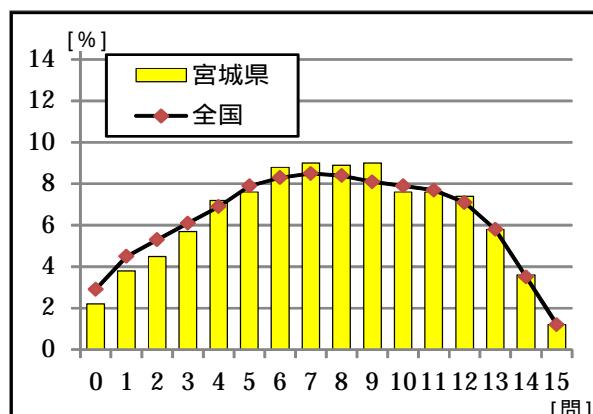
(2) 正答数分布状況

正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
 平成 25 年度は、正答数が 6 問 (40%) 以下の生徒の割合が、全国平均よりやや高くなっている。

【平成 25 年度正答数度数分布グラフ】



【平成 24 年度正答数度数分布グラフ】



(3) 領域別の平均正答率

「図形」と「資料の活用」の領域で全国平均を上回っている。「数と式」の領域では、平成 24 年度は全国平均を 0.5ポイント上回っていたのに対し、平成 25 年度は全国平均を 5.6ポイント下回り、課題が見られる。

領域	数と式						図形					関数	資料の活用	数量関係					合計						
	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20			H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20
県平均正答率 (%)	36.1	41.4	43.5	61.6	53.8	45.5	45.8	61.8	41.1	58.8	59.2	54.0	39.2	42.7	39.9	46.2	54.7	44.2	67.0	39.7	50.5	44.0	57.7	49.1	59.4
全国平均正答率 (%)	41.7	40.9	43.2	61.4	54.2	48.2	44.8	59.7	40.2	57.5	57.6	53.1	40.0	42.2	39.8	45.5	54.1	44.7	67.9	41.5	49.3	43.3	56.9	49.2	60.6
全国との比較	-5.6	0.5	0.3	0.2	-0.4	-2.7	1.0	2.1	0.9	1.3	1.6	0.9	-0.8	0.5	0.1	0.7	0.6	-0.5	-0.9	-1.8	1.2	0.7	0.8	-0.1	-1.2

(4) 設問別調査結果

全国とのかい離が大きい設問等 (: かい離がプラス かい離がマイナス, []内の記号は設問番号)

【数と式】

事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明する問題の正答率は33.9%であり、全国平均を3.4ポイント下回っている。[2(1)]

問題場面における考察の対象を明確に捉える問題の正答率は43.8%であり、全国平均を8.7ポイント下回っている。[6(1)]

数学的な結果を事象に即して解釈する問題の正答率は48.6%であり、全国平均を8.0ポイント下回っている。[6(2)]

事象と式の対応を的確に捉え、事象が成り立つ理由を説明する問題の正答率は19.1%であり、全国平均を5.0ポイント下回っている。[6(3)]

【図形】

方針に基づき三角形の合同を利用して証明する問題の正答率は34.1%であり、全国平均を1.7ポイント上回っている。[4(1)]

【関数】

言葉で表された式の数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈する問題の正答率は29.7%であり、全国平均を2.0ポイント下回っている。[1(2)]

【資料の活用】

事象を数学的に解釈する問題の正答率は33.8%であり、全国平均を1.1ポイント上回っている。[5(3)]

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			宮城県(公立)		全国(公立)		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	15歳の優子さんの安静時心拍数が80のときの目標心拍数を求める			2(1) イ,エ				○	51.7	8.8	53.7	7.2	-2.0	-0.8
1(2)	45歳の優子さんのお父さんとお母さんの安静時心拍数の差が10のときの、二人の目標心拍数の差を求める			2(1) イ,エ				○	29.7	23.4	31.7	22.2	-2.0	1.2
1(3)	安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する			2(1) イ,エ				○	22.5	4.0	23.7	4.5	-1.2	-0.5
2(1)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	2(1) イ,ウ						○	33.9	25.8	37.3	23.1	-3.4	2.7
2(2)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	2(1) イ,ウ						○	35.1	38.9	38.0	34.9	-2.9	2.0
3(1)	水を熱し始めてから10分間で上がった温度を求める			2(1) イ,エ				○	73.9	3.8	72.4	4.5	1.5	-0.9
3(2)	与えられた表やグラフを用いて、水温が80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明する			2(1) イ,エ				○	31.9	32.8	31.7	34.1	0.2	-1.5
3(3)	水を熱した時間と水温と同じように考えて求められる事象を選ぶ			2(1) イ,エ				○	25.4	1.3	26.9	1.9	-0.5	-0.6
4(1)	2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する		2(2) ア,イ					○	34.1	22.3	32.4	23.3	1.7	-1.0
4(2)	2つの辺の長さが等しいことを証明する際に、根拠として用いる平行四辺形になるための条件を選ぶ		2(2) ア,イ					○	57.5	1.5	57.1	2.0	0.4	-0.5
5(1)	横の長さが与えられた長方形が含まれる階級を書く			1(1) イ				○	69.3	12.1	69.0	12.1	0.3	0.0
5(2)	まとも直したヒストグラムの特徴を基に、学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する			1(1) イ				○	25.1	43.0	24.8	43.1	0.3	-0.1
5(3)	図2のヒストグラムで最も度数の大きい階級に含まれることになるものを選ぶ			1(1) イ				○	33.8	1.8	32.7	2.2	1.1	-0.4
6(1)	1辺に5個ずつ碁石を並べて正三角形の形をつくったときの、碁石全部の個数を求める	1(2) ア						○	43.8	8.7	52.5	7.0	-8.7	-0.3
6(2)	碁石全部の個数を求める式 $3(n-1)$ に対応する囲み方を選ぶ	1(2) ア						○	48.8	1.8	58.8	2.1	-8.0	-0.3
6(3)	碁石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する	1(2) ア						○	19.1	47.9	24.1	43.2	-5.0	4.7

生徒質問紙

質 問 事 項	宮城県	全国	かい離	
数学B-4-(1)の問題の解答を書きましたか。	75.4	74.3	1.1	
数学B-4-(1)の問題について解答しなかった理由は何ですか。(解答しなかった生徒のみ)	1 難しくて解答できなかった。	70.5	66.3	4.2
	2 書く分量が多く解答しようと思わなかった。	19.9	25.2	-5.3
	3 時間が足りなくなった。	8.6	7.3	1.3
数学B-4-(1)の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか。(難しくて解答できなかった生徒のみ)	1 問題文の意味が分からなかった。	50.4	50.6	-0.2
	2 どの条件を使えばよいか分からなかった。	27.1	25.9	1.2
	3 考えがまとまらなかった。	15.3	16.0	-0.7
	4 自信がなかった。	4.5	4.6	-0.1

Ⅲ 類似問題の経年比較 (H22 小と H25 中の類似問題の比較)

(1) 中学校国語


A 3 二 文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く

平成 22 年度小学校調査での正答率は 57.7%であったが、今年度調査では 50.9%であった。

平成 22 年度では、全国平均とのかい離が -2.6 ポイントであったのに対して、平成 25 年度では +2.1 ポイントとなり全国平均を上回り、改善傾向が見られた。しかし、正答率が 5 割程度という状況であり、さらなる改善が必要である。

報告する文章を書く際には、伝えたい内容を明確にし、それに必要な事柄を文章の展開に即して適切に盛り込むよう留意して書くことが大切である。

社会生活の中でも話合いの経過や結論を簡潔に分かりやすく報告することは多い。さらなる改善を図るために、行事や職場訪問などの体験について、目的や読み手を意識して報告する文章を書いたり、報告する内容とその伝え方を考えて書いたりする言語活動を設定して、指導事項を指導することが重要である。

<p style="text-align: center;">H 2 2 小 国 A 4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>◆ 運動会の前には体調をくずした人がいた。 健康に気をつける。</p> <p>◆ 開会式の集合時こくにおくれた人がいた。 早めに行動する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>② 早めに行動すること。 ア</p> </div> <p style="text-align: right;">【メモ】 ④ 児童会の代表委員の石橋さんたちは、運動会について伝えたいことを、昨年の反省をもとに「メモ」に取ったあと、児童会だよりに書きました。【児童会だよりの一部】の② ア の中にいるふさわしい内容を、①の書きかたと同じように書きましよう。</p> <p style="text-align: right;">【児童会だよりの一部】 児童会だより 第2号 四月二十七日発行 もうすぐ運動会! 全校のみなさんが楽しみにしている運動会が近づいてきました。昨年の反省を生かして、次のことに注意しましょう。 ① 運動会の前には体調をくずさないように、健康に気をつけること。</p>	<p style="text-align: center;">H 2 5 中 国 A 3 二</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>○ キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよい。 ○ 耳やしっぽのデザインが面白くてよい。 ○ デザインは面白いが、身近にいる動物の方がよい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>キャラクター「読むゾウくん」については、 「読むゾウくん」については、 デザインが面白いし、キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよいという意見が支持されました。</p> </div> <p style="text-align: right;">③ 図書委員会では、読書を推進するためのキャラクターを募集し、選考を行いました。次は、「選考会で出された意見」と、それをもとに図書委員の中山さんが書いた図書だよりの【記事の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。</p> <p style="text-align: right;">【記事の下書き】 キャラクター「読むゾウくん」に決定 読むゾウくん本を読もう 読書を推進するためのキャラクターが、「読むゾウくん」に決まりました。 選考会では「本だなん」との決戦になりました。 「本だなん」については、本の印象が強いし、楽しい雰囲気が出ていてよいという意見が出ましたが、読書を勧めている感じがしないという指摘がありました。 「読むゾウくん」については、 デザインが面白いし、キャラクター名の言葉の響きが読書を勧めている感じがしてよいという意見が支持されました。</p>
<p>(全国) 60.3% (県) 57.7%</p>	<p>(全国) 48.8% (県) 50.9%</p>

A 4 二 目的に応じて必要な情報を読み取る

平成22年度小学校調査での正答率は64.9%であったが、今年度調査では71.7%であった。

平成22年度では全国平均とのかい離が-0.6ポイントであったのに対して、平成25年度では+1.6ポイントとなり全国平均を上回り、改善傾向が見られた。

目的に応じて必要な情報を読み取るためには、見出しや項目の順序性などに着目して、どこを読めばよいか見当を付けること、複数の資料を比較しながら読むこと、情報に関連付けて読むことなど、資料の特性を生かした読み方をする必要がある。例えば、社会生活において、生徒が実際に目的をもって読むことの多い実用的な資料を教材として用いることが有効である。

目的に応じて必要な情報を読み取ることについては、正答率も71.7%に至っていることから、改善が進んでいると考えている。


H 2 2 小 国 B 4

(問い) 中島さんは、どの目覚まし時計を選べばよいでしょうか。A・B・Cの中から一つ選んで、その記号を書き出しの文の□の中に書きましよう。そして、その目覚まし時計を選ぶ理由を、【資料】の情報と【決めたこと】の内容のどちらにもふれながら、書き出しの文に続けて、六十字以上、八十字以内にまとめて書きましよう。

【資料】

インターネットを使って集めた目覚まし時計の情報

A 価格：3150円




- 設定した時刻になると、「おはよう」という声を出す。
- 時刻を示す針が、暗いところで光る。

B 価格：5250円



- 5種類の音楽の中から目覚まし音を選べる。
- 時刻を示す数字の横に、「午前」、「午後」という表示がある。

C 価格：4200円



- 好きな音楽を目覚まし音にすることができる。
- ボタンをおすと、時刻の表示が日付の表示に切りかわる。

【決めたこと】

- ◇ 5000円より安いもの。
- ◇ 音楽で目覚めることができるもの。

4

中島さんは、目覚まし時計を買うために、インターネットを使って情報を集めました。そして、どんな目覚まし時計を選ぶかということについて、家族に相談して決めました。【資料】と【決めたこと】を読んで、あとの問いに答えましよう。

(全国) 65.5%
(県) 64.9%

A 4二 目的に応じて必要な情報を読み取る

H 2 5 中国 A 4二

4

次は、市民センターの「催し物案内」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【催し物案内】

催し物案内（6月）				
講座番号・講座名	日時	内容	対象	申し込み
① ペーパークラフト	6/8（土） 10時～12時	クジラやペンギンなど海の仲間を紙で作ります。子どもに人気の催し物です。親子でも楽しめます。	小学生・中学生 ※ 保護者の参加も可	5/20（月）まで
② 夏の星座を知ろう	6/9（日） 第1回 10時～11時 第2回 14時～15時	プラネタリウムで夏の星座について学びます。七夕の伝説についても詳しく説明します。	どなたでも	不要
③ 料理教室	6/15（土） 13時～16時	冷たいスイーツ作りに挑戦します。材料代200円が必要です。エプロンをご用意ください。	小学生以上 ※ 4年生以下は保護者同伴	6/3（月）まで
④ 和太鼓教室	6/22（土） 10時～12時	地域に伝わる和太鼓の歴史と演奏の仕方を学びます。保存会の方に指導していただきます。	小学5年生～高校生	当日受付
⑤ ジャズダンス	6/29（土） 10時～12時	ジャズダンスの基礎的なステップを学びます。運動ができる服装で参加してください。	高校生以上	当日受付

【申し込み先】
市民センター
☎ 000-123-****

- 一 「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 どのようなことをするのかを簡潔な表現で紹介している。
 - 2 箇条書きを用いて申し込みの方法や期日を提示している。
 - 3 読者に問いかけるような形で参加を呼びかけている。
 - 4 参加者の感想を交えながら講座の魅力を伝えている。
- 二 前日までに申し込みをしなくても中学生が参加できる講座を、講座番号①から⑤までの中から全て選ばびなさい。

(全国) 70. 1%
(県) 71. 7%

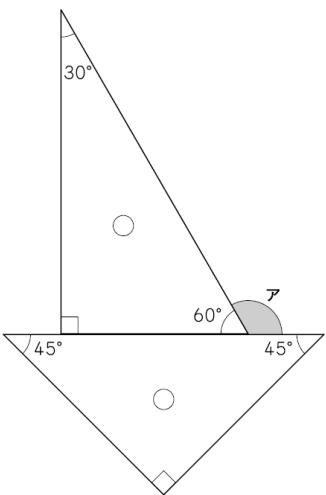
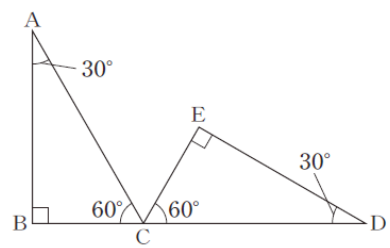
(2) 中学校数学

A $\boxed{2}$ (3) a mの重さがb gの針金の1 mの重さを, a, bを用いた式で表す。

<p>H 2 2 小学校 算数 A $\boxed{2}$(1)</p> <p>8 mの重さが4 kgの棒があります。この棒の1 mの重さは何 kg ですか。求める式と答えを書きましよう。</p>	<p>H 2 5 中学校 数学 A $\boxed{2}$(3)</p> <p>a mの重さがb gの針金があります。この針金の1 mの重さは何 g ですか。a, bを用いた式で表しなさい。</p>
<p>(全国) 5 3. 8 % (県) 5 1. 7 %</p>	<p>(全国) 3 2. 3 % (県) 3 2. 2 %</p>

平成22年度小学校調査で課題が見られた「長さと言重さの分かっている棒1 mの重さを求める問題」を, 平成25年度中学校調査では, 「長さと言重さの分かっている針金1 mの重さを求める問題(文字を使った式)」として出題している。無回答率18.9%, 解答としてa bを選択した生徒が14.3%であった。除法の意味理解や, 針金の重さが長さに比例する関係と捉え正しく比例式を作ることに課題が見られる。

A $\boxed{4}$ (3) $\triangle ABC$ を, 点Cを回転の中心として時計回りに回転移動して $\triangle DEC$ にぴったり重ねたとき, 回転角の大きさを求める

<p>H 2 2 小学校 算数 A $\boxed{5}$(1)</p> <p>(1) 1組の三角定規を下の図のように置くと, 角アの大きさは何度ですか。答えを書きましよう</p> 	<p>H 2 5 中学校 数学 A $\boxed{4}$(3)</p> <p>(3) 下の図のように, 3つの内角が$30^\circ, 90^\circ, 60^\circ$の$\triangle ABC$とそれに合同な$\triangle DEC$があり, 点B, C, Dは一直線上にあります。</p>  <p>$\triangle ABC$を, 点Cを中心として時計回りに回転移動して, $\triangle DEC$にぴったり重ねるには, 何度回転移動すればよいですか。その角度を求めなさい。</p>
<p>(全国) 8 2. 6 % (県) 8 2. 7 %</p>	<p>(全国) 5 6. 0 % (県) 5 4. 8 %</p>

平成22年度小学校調査では, 三角定規が示された場面で, 60° の補角の大きさを求める問題の正答率は82.7%であった。

平成25年度中学校調査では, 回転の角が 180° を選択した解答が12.3%, 90° を選択した解答が8.8%であった。回転移動では, 対応する点は回転の中心から等しい距離にあり, 対応する点と回転の中心を結んでできる角の大きさが等しいことの意味理解に課題を残している。

A 7 (3) 与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ。

H 2 2 小学校 算数 A 7

下の方眼紙に平行四辺形をかいています。
もう一つの頂点はどこになりますか。
1 から 6 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

(全国) 76.1%
(県) 76.8%

H 2 5 中学校 数学 A 7 (3)

(3) 下の図のように、点A, B, Cがあり、点Aと点B, 点Bと点Cを結びます。

前ページの①, ②, ③の手順では、どのようなことがらを根拠にして平行四辺形ABCDをかいていますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行な四角形は、平行四辺形である。

イ 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

ウ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

エ 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しい四角形は、平行四辺形である。

オ 対角線がそれぞれの中点で交わる四角形は、平行四辺形である。

下の①, ②, ③の手順で点Dをとり、平行四辺形ABCDをかきます。

① 点Aを中心として、BCを半径とする円をかく。

② 点Cを中心として、ABを半径とする円をかく。

③ 交点をDとし、点Aと点D, 点Cと点Dを結ぶ。

(全国) 76.1%
(県) 76.8%

平成22年度小学校調査では、方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ問題の正答率は76.8%であった。

平成25年度中学校調査では、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置をコンパスを用いて求めたとき、作図の根拠として正しいものを選ぶ問題の正答率は41.7%であった。これは、コンパスが等しい長さを移すことや、平行四辺形になるための条件についての理解に課題があると考えられる。

IV 児童生徒質問紙調査結果

※表の下端は全国との比較

1 結果の概要

- 小・中学生ともに、はやね・はやおき・あさごはんや規則正しく生活することなど、基本的生活習慣に関する質問に対して、全国と比べて肯定的な回答をしている項目が多い。
- 長時間テレビやビデオ・DVDを見る割合は、小・中学生ともに昨年度より減少したが、小学生は全国値よりも高い。また、長時間テレビゲームをする割合は、小・中学生ともに昨年度より増加し、小学生においては全国値よりも高い。
- 家で授業の予習、復習をしている割合は、小・中学生ともに昨年度より増加し、全国値を上回っているが、平日に2時間以上勉強している中学生の割合は、全国値を下回っている。
- 小学生において、国語、算数の授業の内容がよく分かったと答えた割合は、昨年度より減少し、全国値を下回っている。中学生においては、国語が微減、数学が増加し、全国値と同等または上回る結果であった。

2 質問事項別の状況

(1) 学習に対する関心・意欲・態度

- 小学生において、国語、算数の授業の内容がよく分かったと答えた割合は、昨年度より減少し、全国値を下回っている。また、中学生においては、国語は昨年度をわずかに下回ったが、調査開始時より徐々に増加している。数学は特に、昨年度に比べて明らかに増加した。
- 国語の授業で、自分の考えをその理由が分かるように気を付けて書いたり、文章のまとまりごとに内容を理解しながら読んだりする児童生徒の割合は、中学生で全国値を上回っている。
- 小・中学生ともに、言葉や式でわけや求め方を書く問題に対して、最後まで書く努力をした児童生徒の割合は、全国値を下回っている。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	国語の授業の内容はよく分かりますか	78.4	83.7	82.3	80.1	77.6	78.7	74.3	74.7	71.5	70.1	69.6	67.5
		-1.5	+0.6	+0.0	+0.1	-0.4	+0.7	+2.4	+3.5	+1.6	+1.3	+2.8	+2.1
2	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	78.6	79.5	78.0	80.2	79.2	77.9	70.5	64.1	64.8	62.4	64.5	61.5
		-1.6	+0.4	+0.8	+1.0	+0.8	+0.8	+0.0	-0.8	-0.9	-2.5	-1.0	-2.1
4	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	68.9	72.0	72.8	66.7	67.2		66.5	63.3	62.1	58.6	61.4	
		+0.0	+0.7	+3.6	+0.5	+0.1		+6.1	+3.9	+4.4	+3.5	+5.9	
5	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	72.4	74.9	74.9	70.6	71.7		67.7	68.5	66.7	63.3	65.6	
		-0.9	-0.2	+1.5	-0.2	-0.2		+3.2	+2.9	+3.0	+2.6	+4.1	
6	算数・数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考えますか	75.4	78.1	77.4	77.6	76.2	75.0	68.2	65.7	68.7	64.9	64.7	63.6
		-2.0	-1.0	+0.1	+0.8	+0.2	+0.3	+0.9	-0.3	+1.6	+0.1	+1.1	+0.6
7	言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題についてどのように解答しましたか（最後まで書く努力をした）	72.9	70.8	60.5	66.4	65.9		42.9	45.8	45.6	48.4	42.2	
		-1.5	-1.6	-1.5	-1.6	-1.1		-2.0	-0.1	+0.1	+0.4	-0.5	

(2) 基本的な生活習慣、家庭でのコミュニケーション

- 小・中学生ともに、はやね・はやおき・あさごはんの習慣は、おおむね全国値を上回る水準である。また、午前6時30分より前に起きる児童生徒の割合が増加してきている。
- 地域の行事に参加している小学生の割合は、全国値を大きく上回っている。中学生は全国値をわずかに下回っている。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(小：午後10時前 中：午後11時前)	53.1	53.5	49.6	51.1	48.4	49.4	37.4	37.3	35.5	34.3	32.4	33.8
		+6.0	+7.5	+5.8	+7.8	+7.0	+7.3	+3.5	+3.4	+3.1	+2.5	+3.0	+4.0
2	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか(午前6時30分より前)	46.2	43.3	39.8	39.8	38.0	37.9	38.0	35.2	30.6	29.9	29.2	29.2
		+4.7	+4.4	+3.0	+3.5	+2.5	+3.5	-1.7	-2.3	-3.7	-3.4	-3.5	-2.5
3	朝食を毎日食べていますか	96.7	96.6	97.4	96.6	96.3	96.2	94.7	94.4	94.5	94.0	93.6	93.3
		+0.4	+0.5	+1.0	+0.6	+0.9	+1.0	+0.9	+0.8	+1.2	+1.6	+1.7	+1.7
4	家の人と学校での出来事について話をしていますか	77.8	77.6	77.0	71.0	70.9	70.0	67.6	66.7	65.1	61.1	60.0	60.0
		+1.3	+1.7	+2.8	+0.1	+1.7	+1.6	+1.0	+1.0	+1.4	+1.3	+2.1	+2.2
5	家の手伝いをしていますか	83.3	84.0	83.8	82.0	81.0	81.1	69.3	71.1	69.7	68.3	65.9	67.9
		+2.8	+3.3	+3.6	+3.5	+3.5	+2.7	+4.8	+5.1	+4.9	+5.3	+5.3	+4.6
6	今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.1	73.2	74.4	73.0	71.6	72.6	41.3	37.9	39.5	40.9	39.8	39.7
		+9.2	+10.0	+12.8	+10.6	+11.7	+10.6	-0.3	+0.2	+5.2	+3.1	+2.8	+2.2

(3) 学習時間等

- 家で授業の予習、復習をしている割合は、小・中学生ともに昨年度よりも増加し、全国値を上回っている。平日に家で1時間以上勉強する小学生の割合、2時間以上勉強する中学生の割合は、年々増加傾向にある。小学生は全国値を上回っているが、中学生は下回っている。
- 3時間以上テレビを見る児童生徒の割合が減ってきた一方、3時間以上インターネットを使ったり、よくメールをしたりする児童生徒が増加してきた。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)						
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19	
1	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.3 +2.4	61.1 +3.1	64.7 +6.4	55.5 +0.8	51.5 -0.5	36.6	48.5 +4.0	45.6 +2.7	44.3 +2.5	40.1 +2.2	35.8 +1.6	39.3	
2	家で学校の授業の予習をしていますか	47.6 +6.3	45.6 +5.1	48.6 +8.2	42.6 +5.1	39.1 +3.7	36.6 +3.7	48.3 +14.8	39.3 +10.0	43.9 +13.0	42.1 +12.6	41.0 +12.6	39.3 +9.8	
3	家で学校の授業の復習をしていますか	61.9 +10.5	59.9 +9.7	61.2 +11.6	54.9 +8.9	50.8 +7.4	45.8 +5.7	60.8 +12.2	56.8 +11.3	54.4 +10.9	49.7 +9.2	48.4 +8.8	45.8 +6.6	
4	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか	30分以上	90.1 +2.4	89.1 +3.5	88.7 +3.9	86.1 +2.5	83.5 +1.1	83.5 -0.4	85.4 +0.2	84.7 +1.4	83.1 +0.0	81.7 -0.2	81.4 -0.7	78.6 -2.6
		1時間以上	64.8 +1.6	61.2 +1.7	61.5 +3.3	56.9 -0.3	52.9 -3.2	53.8 -4.1	66.4 -2.2	65.8 -0.6	63.7 -2.5	62.2 -3.1	63.1 -2.3	59.9 -5.1
		2時間以上	22.0 -5.1	21.3 -4.3	20.8 -4.9	19.7 -6.0	18.8 -6.7	18.3 -7.2	30.7 -5.8	30.0 -5.3	28.5 -7.2	29.1 -6.6	29.8 -5.9	27.4 -8.0
		3時間以上	7.0 -4.5	7.0 -4.1	6.8 -4.6	17.9 -4.9	16.3 -6.4	15.4 -7.6	7.1 -3.4	6.6 -3.3	6.3 -3.9	13.5 -1.9	13.6 -1.5	11.8 -3.1
5	普段1日にどれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	41.9 +3.3	47.8 +5.1	47.2 +3.9	51.1 +5.4	51.7 +5.6	38.0 +3.7	29.7 +0.0	33.3 +0.8	38.1 +1.6	40.4 +2.4	43.0 +3.4	35.9 +2.8	
6	普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか(3時間以上)	16.1 +1.2	13.7 +1.1	12.6 +1.3	13.0 +1.4	14.0 +2.1	9.8 +0.9	14.3 0.0	10.5 -0.9	10.2 -0.6	10.5 +0.1	10.4 -0.1	10.5 -0.2	
7	普段1日にどれくらいの時間インターネットをしますか(3時間以上)	5.9 +0.1	4.7 -0.1	3.8 +0.3	3.4 +0.0	3.3 +0.0	9.8 +0.9	16.6 -0.7	12.3 -0.6	8.9 -0.1	8.1 -0.5	7.6 -0.3	10.5 -0.2	
8	携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか(毎日、時々)	29.4 -3.4	26.8 -1.4	20.7 -2.4	20.5 -3.2	21.0 -4.3	17.5 -4.8	61.4 -0.1	56.8 +0.5	49.7 -3.1	50.9 -3.7	55.4 -1.7	53.1 -1.9	

(4) 自尊意識・規範意識

- 小・中学生ともに「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた割合は全国値を下回っており、昨年度よりも低くなっている。
- 「きまりを守っているか」「いじめは絶対にいけないと思うか」という規範意識に関する質問に対して肯定的な回答をした割合は、小・中学生ともに全国値をわずかに下回っている。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	自分には、よいところがあると思う	72.2 -3.5	76.4 -0.4	73.6 -0.8	72.9 -1.7	71.4 -2.0	68.6 -2.9	65.6 -0.8	67.7 -0.5	63.8 +0.7	61.6 +0.4	61.8 +1.0	59.8 -0.7
2	ものごを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	93.4 -0.9	94.8 +0.3	94.5 +0.4	93.8 +0.0	93.2 -0.3	93.2 +0.1	93.7 +0.0	93.4 +0.2	93.6 +0.9	92.9 +1.0	92.9 +1.0	92.4 +0.4
3	将来の夢や目標を持っていますか	86.4 -1.3	86.5 -0.2	86.5 -0.3	85.6 -0.7	84.0 -0.7	83.6 -0.1	73.7 +0.2	73.8 +0.6	72.6 +0.9	71.3 +0.3	72.0 +1.3	72.2 +1.5
4	学校のきまり(規則)を守っていますか	89.6 -1.0	91.2 -0.1	89.4 +0.2	87.6 -0.9	85.7 -0.6	85.2 -1.0	92.2 -0.3	91.2 -1.1	90.5 +0.4	89.3 +0.7	88.0 +0.6	86.0 +0.3
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	95.0 -0.9	95.3 -0.1	94.3 -0.7	95.1 +0.2	95.0 +0.3	94.7 +0.0	92.8 -0.7	92.9 -0.1	90.8 -0.3	90.7 +0.4	89.8 +0.3	87.8 -0.1
6	人の役に立つ人間になりたいと思う	91.7 -1.9	94.7 +0.0	92.5 -0.9	91.8 -0.7	92.0 -0.4	91.4 -0.5	92.6 -0.7	93.7 -0.2	91.5 -0.6	90.4 +0.0	90.6 +0.1	89.4 -0.2

V 学校質問紙調査結果

※ 表の下段は全国との比較

1 結果の概要

- 問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導や学校全体での教育活動の改善のために活用している学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。
- 国語の指導として、書く習慣を付ける指導に取り組んでいる学校の割合は、小学校では昨年度より減少しており、全国値と比較しても低い。中学校では昨年度より増加しており、全国値と比較しても高い。
- 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける指導に取り組んでいる学校の割合は、小学校・中学校ともに昨年度より減少しており、中学校では全国値より低い。
- 算数・数学の指導において、補充的な指導に取り組んでいる学校の割合は、小学校では昨年度より減少しており、中学校では増加しているが、小・中学校ともに全国値より高い。
- 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。
- テーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値より低い。

2 質問事項別の状況

(1) 学力・学習状況調査の活用

- 問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導や学校全体での教育活動の改善のために活用している学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)						
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善を行ったか。	96.1	87.2	100.0	93.0	89.0		92.4	76.6	94.2	93.2	94.1	
		+4.0	+1.7	+0.1	+1.3	-5.8		+3.7	-3.2	+3.1	+3.2	+8.1	
2	問題冊子等や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用したか。	92.8	82.0	100.0	97.3	94.8		90.9	73.0	89.1	89.1	89.1	
		+4.1	+0.8	+0.1	+4.4	+4.0		+6.0	-1.1	+7.6	+10.4	+17.7	

(2) 指導方法・学習規律

- 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った学校の割合は、小学校で減少し、全国値より低く、中学校で増加し全国値より高い。
- 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校で減少し全国値より低い。
- 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校で低い。
- 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている小・中学校の割合は全国値より高い。
- 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めている学校の割合は、小学校で減少し全国値より低く、中学校で減少はしているが全国値より高い。
- 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値より高い。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)						
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったか。	89.1	94.0	91.6	88.3	90.1	82.2	96.0	94.9	94.2	95.0	89.5	85.8
		-0.8	+4.2	+2.2	-0.8	+2.7	-1.2	+3.8	+3.3	+3.1	+4.1	-0.3	-1.9
2	国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったか。	86.0	89.5	85.4	85.5	87.4	82.6	78.3	84.6	84.9	85.9	81.4	84.4
		+2.3	+6.6	+2.4	+2.2	+4.5	+2.3	-5.9	+0.7	+0.2	+3.2	-1.7	+2.3
3	算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったか。	65.0	61.8	61.7	66.0	63.5	62.4	55.1	54.1	50.1	52.3	53.7	46.2
		+2.0	-1.3	-0.9	+4.1	+2.7	+2.3	-2.1	-1.4	-1.5	+2.4	+3.9	-2.3
4	児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしたか。	96.0	94.8	95.8	94.6	97.5		94.4	95.4	95.9	92.3	91.3	
		+1.0	-0.1	+1.4	-0.2	+3.3		+2.6	+4.3	+5.7	+2.7	+2.5	
5	児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めたか。	96.6	98.6	99.3	96.4	97.1		95.0	96.3	100.0	95.9	95.5	
		-0.7	+1.6	+2.1	-1.0	+0.2		+1.7	+2.5	+7.7	+3.4	+4.9	
6	児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか。	78.6	77.6	72.3	68.1	62.1		99.0	97.3	94.1	96.8	95.9	
		+7.1	+6.3	+1.3	-1.4	-4.1		+4.5	+2.0	-2.1	+0.9	+0.0	

(3) 個に応じた指導

- 算数・数学の指導において、前年度までに、補充的な指導を行っている小・中学校の割合は、小学校で減少しているが全国値より高く、中学校で増加し全国値より高い。
- 算数・数学の指導において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行っている小・中学校の割合は、全国値より低い。
- 算数・数学の指導において、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行っている小・中学校の割合は、全国値より低い。

	質問事項	小学校 (%)					中学校 (%)						
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	算数・数学の指導において、前年度までに、補充的な指導をしたか。	87.4	91.9	89.6	88.5	93.1		88.9	87.3	89.0	88.2	91.8	
		+0.1	+3.6	+1.8	+1.8	+3.1		+2.9	+0.3	+2.4	+2.1	+3.0	
2	算数・数学の指導において、習熟の遅いグループに対して第1学年のときに少人数による指導をしたか。	36.2	33.7	36.0	37.4	33.6		23.7	28.1	42.4	37.3	42.7	
		-4.9	-7.4	-3.4	-2.3	-6.9		-1.0	-1.9	+8.7	+3.4	+6.0	
3	算数・数学の指導において、習熟の早いグループに対して第1学年のときに発展的な内容について少人数による指導をしたか。	30.8	29.0	29.0	26.9	27.5		19.7	24.6	38.0	32.7	39.6	
		-2.6	-4.2	-2.5	-5.3	-6.2		-1.8	-0.8	+8.7	+3.1	+7.1	

(4) 学習環境づくりに向けた取組

- 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している学校の割合は、小・中学校ともに増加し、全国値より高い。
- 長期休業期間を利用した補足的な学習サポートを実施している学校の割合は、小・中学校ともに全国値より低い。
- 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合は、小学校で減少し全国値より低く、中学校で増加し全国値より高い。
- 学校図書館を活用した授業を計画的に行っている学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校で全国値より低い。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施したか。	74.0 +12.3	70.2 +8.4	78.5 +16.5	76.8 +15.9	58.6 +16.7	61.0 +20.1	88.9 +2.9	85.2 -1.5	84.0 -1.5	86.1 +3.0	63.6 +6.4	61.8 +6.4
2	長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施したか。	61.8 -3.2	53.3 -10.1	53.5 -5.1	46.6 -10.4	43.0 -7.0	41.2 -6.6	74.7 -9.4	74.5 -9.6	73.7 -6.7	68.6 -11.6	70.0 -7.0	68.9 -6.1
3	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けたか。	97.6 -0.6	98.7 +0.6	99.3 +1.3	98.7 +0.8	95.0 +1.8	93.2 +1.2	94.9 +2.2	94.1 +1.2	94.1 +2.1	93.2 +1.8	89.5 +3.1	88.9 +4.3
4	学校図書館を活用した授業を計画的に行ったか。	79.1 +0.5	75.4 -1.8	77.8 -1.0	72.6 -5.2	63.5 -3.8	56.4 -3.5	30.8 -10.8	30.7 -13.2	41.6 -4.8	41.3 -6.3	28.6 -11.1	36.0 -2.3

(5) 家庭学習・家庭との連携

- 国語、算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行っている学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校では国語が全国値より低く、数学は全国値より高い。
- 国語、算数・数学の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えている割合は、小・中学校ともに全国値よりも低い。
- 国語、算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っている学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校では国語が全国値より低く、数学は全国値より高い。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	国語の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行ったか。	98.3 +2.7	97.0 +2.1	96.6 +2.4	97.3 +4.3	97.3 +6.7	97.3	69.2 -2.8	70.7 -0.3	78.0 +7.4	75.9 +6.1	67.3 +0.7	67.3
2	算数・数学の指導として、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行ったか。	97.7 +2.1	96.2 +1.6	95.9 +2.2	97.1 +4.7	96.8 +6.4	96.8	73.7 +1.0	70.1 +0.3	78.9 +7.5	73.6 +3.5	71.4 +4.5	71.4
3	国語の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えたか。	99.3 -0.1	99.2 -0.1	99.3 +0.1	99.3 +0.3	99.6 +0.9	98.4 +1.3	81.3 -8.3	84.1 -4.7	96.5 +7.7	89.1 +2.1	85.5 -1.0	78.6 -5.4
4	算数・数学の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えたか。	99.3 -0.3	100.0 +0.6	99.3 +0.1	99.1 +0.1	99.6 +0.8	98.7 +1.2	89.9 -2.8	92.8 +0.6	94.9 +3.0	92.3 +1.8	94.1 +3.7	87.6 -1.0
5	国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行ったか。	97.8 +1.0	95.5 -1.5	100.0 +3.8	96.4 +0.8	98.0 +0.7	98.0	93.5 -2.4	95.6 -0.3	90.7 -4.1	94.5 +0.9	94.5 +0.2	94.5
6	算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行ったか。	97.3 +0.3	97.0 +0.2	99.3 +3.3	96.4 +1.2	98.4 +1.0	98.4	95.9 +0.7	93.9 -1.5	93.2 -0.9	93.6 +0.7	95.9 +1.7	95.9

(6) 教員研修

- 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている学校の割合は、小学校では減少しているが全国値より高く、中学校では増加し、全国値より高い。
- 講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校の割合は、小・中学校ともに全国値より15ポイント以上低く、かい離が大きい。
- 授業研究を伴う校内研修を行っている学校の割合は、小学校で全国値より高く、中学校で全国値より低い。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っているか。	95.4 +0.6	97.0 +2.4	92.3 -2.1	91.2 -2.5	90.7 -2.0	88.5 -2.8	88.4 +2.0	81.5 -3.8	91.4 +8.2	88.7 +6.2	88.2 +7.0	84.5 +6.0
2	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っているか。	77.6 -15.1	78.1 -13.9	78.4 -13.8	73.7 -18.2	75.0 -17.1	70.1 -20.9	65.2 -19.2	66.6 -17.3	71.1 -11.3	66.4 -16.2	59.0 -23.9	63.6 -19.5
3	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施したか（9回以上）。	48.3 +1.2	50.5 +4.2	56.1 +9.2	50.0 +6.4	50.5 +4.5	44.5 +0.0	30.8 -0.5	28.9 -1.4	33.0 +4.8	30.5 +4.4	24.0 -3.0	22.7 -2.9

(7) 地域の人材・施設の活用

- 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている学校の割合は、小学校では減少しているが全国値より高く、中学校では減少し、全国値より低い。
- 博物館や科学館、図書館を利用した授業を行っている学校の割合は、小学校は全国値より低く、中学校は減少しているが全国値より高い。
- 職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合は、小学校で全国値より15ポイント以上低く、かい離が大きい。

	質問事項	小学校 (%)						中学校 (%)					
		H25	H24	H22	H21	H20	H19	H25	H24	H22	H21	H20	H19
1	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行ったか。	80.0 +0.7	80.5 -1.6	82.0 +3.4	70.0 -4.2	75.7 +0.9	79.3 +0.9	54.5 -3.1	63.4 +3.1	44.2 -6.8	56.8 +0.2	54.5 -3.4	58.2 -1.4
2	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行ったか。	34.2 -3.3	38.9 -1.8	34.6 -1.6	27.3 -6.8	33.1 -3.4	31.9 -6.5	21.7 +7.1	28.0 +12.0	20.2 +6.2	23.7 +7.0	25.9 +7.7	30.7 +10.0
3	職場見学や職場体験活動を行っているか。	25.9 -16.0	32.5 -10.0	22.9 -14.8	22.5 -13.7	25.9 -8.5	22.5 -10.1	99.0 +0.6	98.3 +0.0	100.0 +2.2	99.1 +2.0	97.3 -0.5	99.1 +3.1

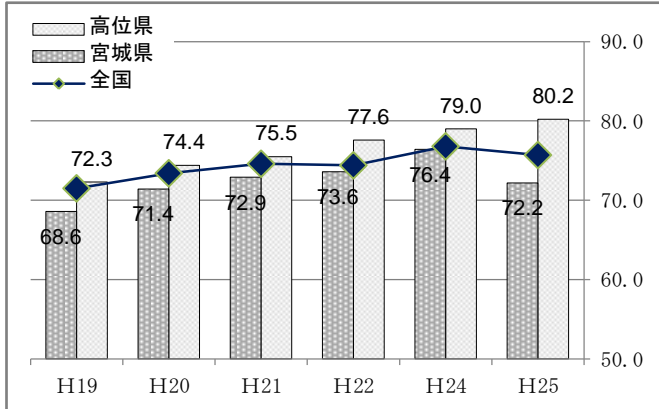
VI 平均正答率の高い県との比較

宮城県全体の課題をより明確に把握したいと考え、児童生徒質問紙調査において、自尊意識、将来の夢や目標、基本的な生活習慣、学習習慣、教科への取組や関心・意欲・態度に関する特徴の見られた10項目について、平均正答率の高い県（以下、高位県）と比較した。また、学校質問紙調査において、地域人材・施設の活用に関する1項目について、平均正答率の高い県（以下、高位県）と比較した。

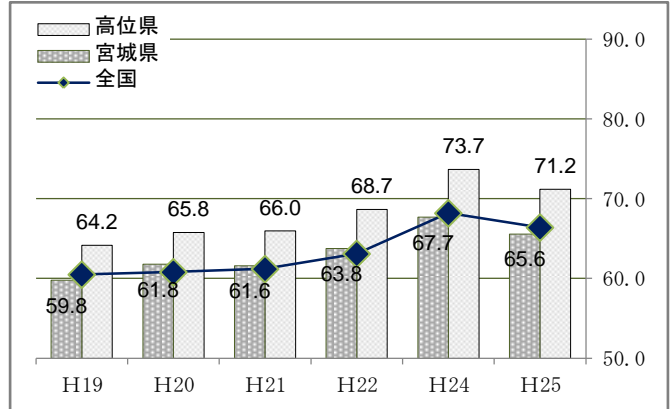
(1) 自尊意識、将来の夢や目標に関する質問事項の比較結果

①自分にはよいところがあると思いますか。

【小学校】

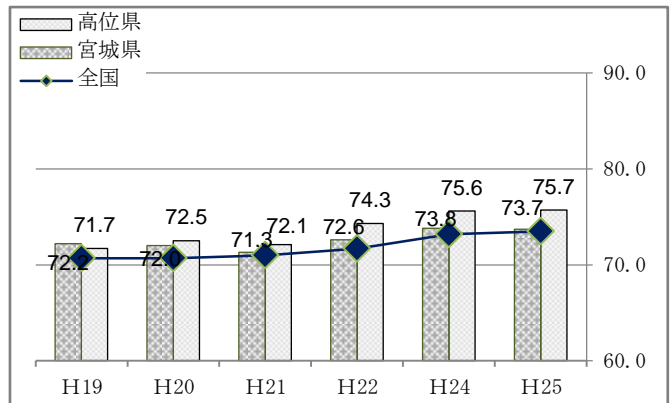
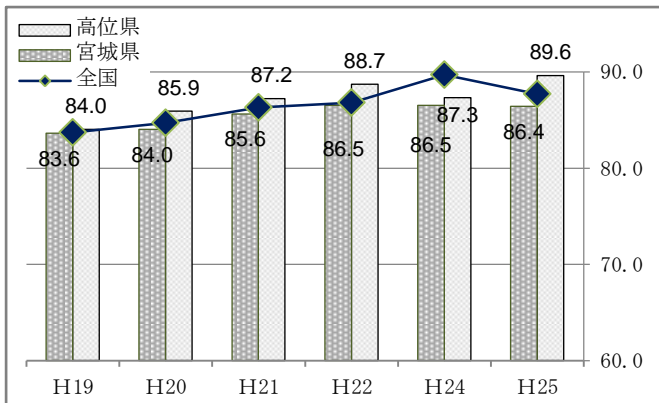


【中学校】



- ・小学生は全国値及び高位県より低い。
- ・中学生は全国値に近いが、高位県より低い。

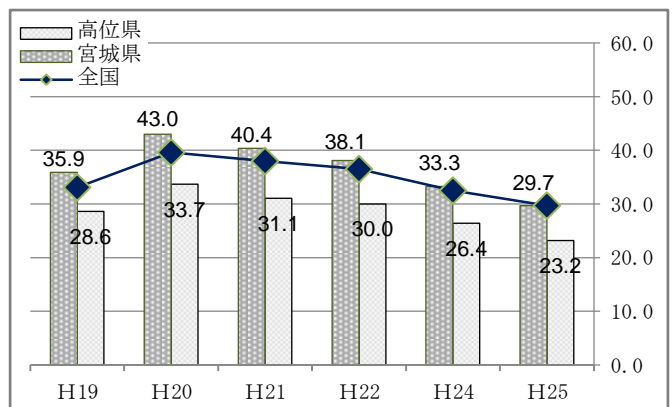
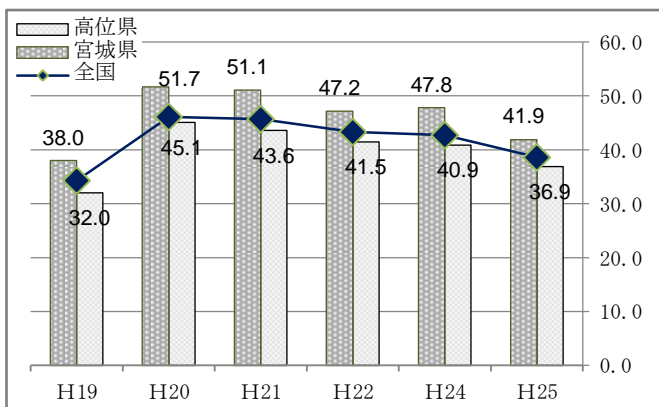
②将来の夢や目標を持っていますか。



- ・小学生は全国値及び高位県より低い。
- ・中学生は全国値とほぼ同じだが、高位県より低い。

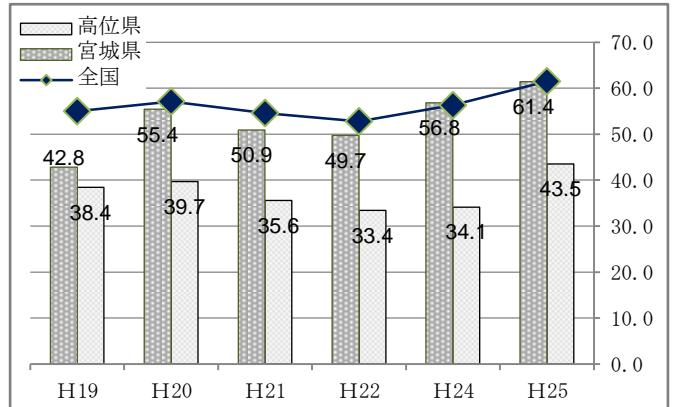
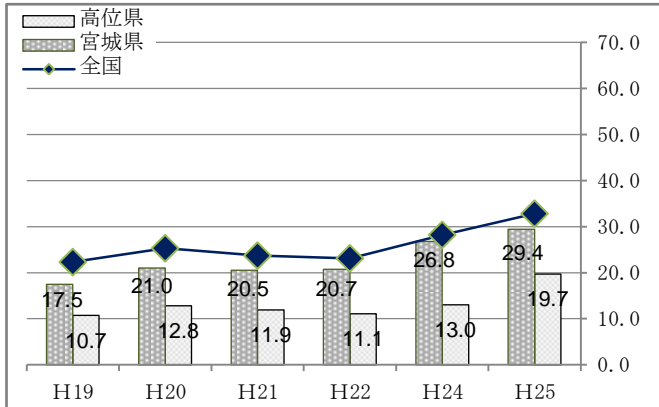
(2) 基本的な生活習慣に関する質問事項の比較結果

①1日何時間、テレビ等を見ますか。（3時間以上と回答した割合）



- ・小学生は全国値及び高位県より高い。
- ・中学生は全国値に近いが、高位県より高い。

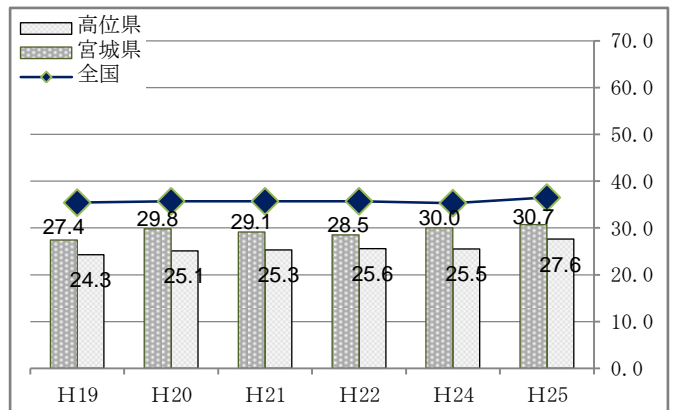
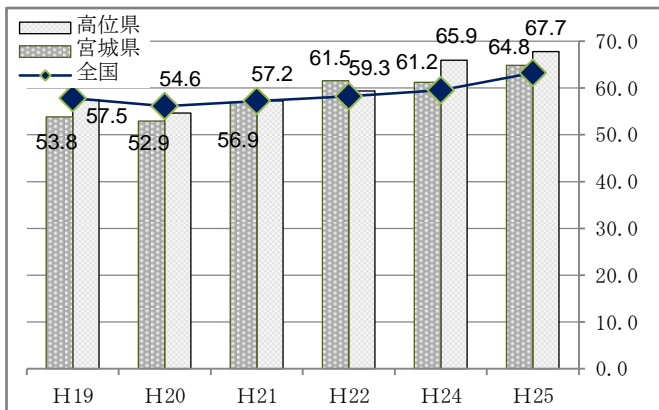
②携帯電話で通話やメールをしていますか。(毎日あるいは時々と回答した割合)



- ・小学生は全国値より低いが、高位県より高い。
- ・中学生は全国値に近いが、高位県より高い。

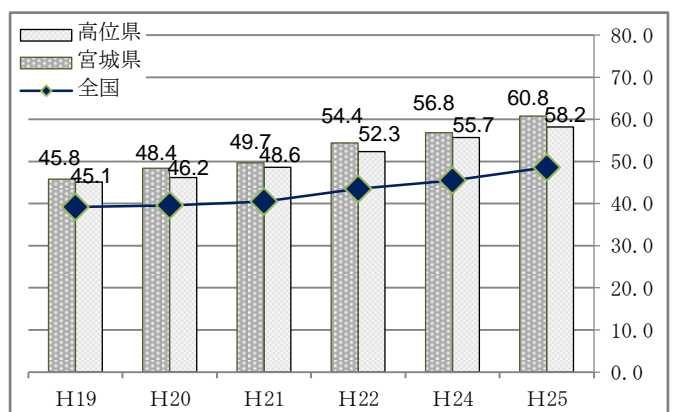
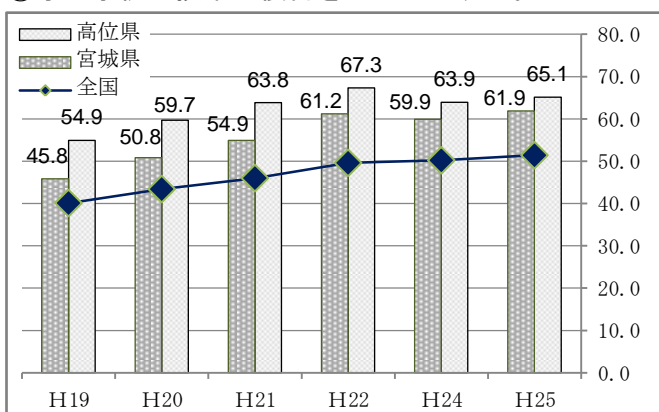
(3) 学習習慣に関する質問事項の比較結果

①普段何時間くらい勉強しますか。(小学校：1時間以上，中学校：2時間以上)



- ・小学生は全国値より高いが、高位県より低い。
- ・中学生は高位県より高いが、全国値より低い傾向が続いている。

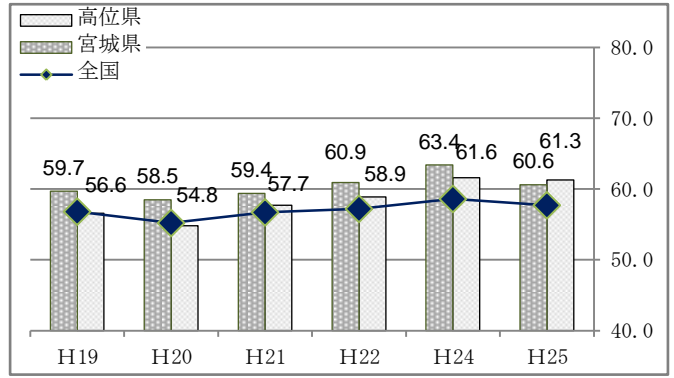
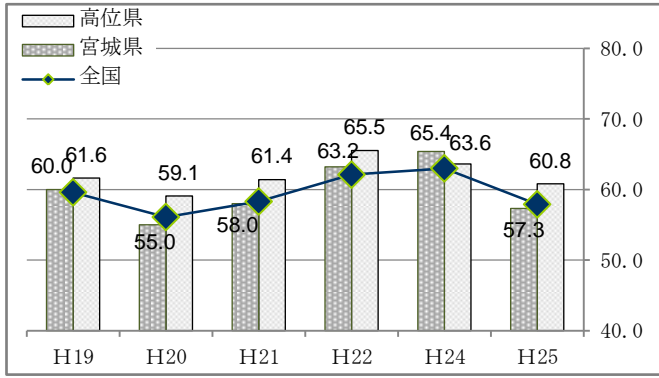
②家で学校の授業の復習をしていますか。



- ・小学生は全国値より高いが、高位県より低い。
- ・中学生は全国値及び高位県より高い。

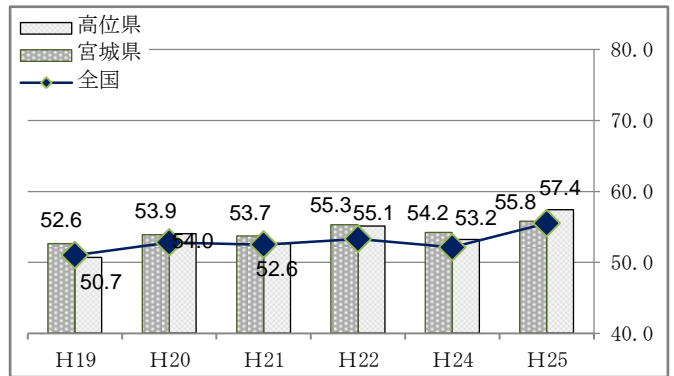
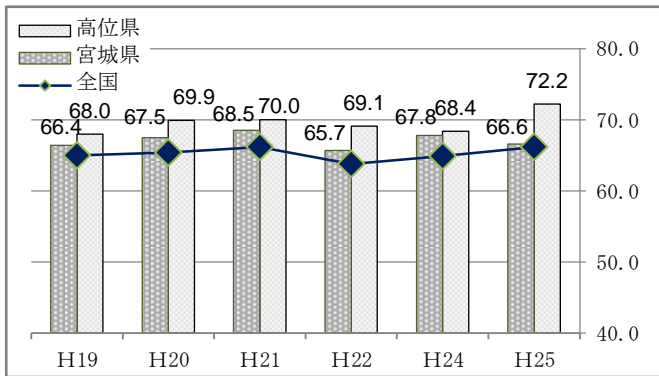
(4) 教科への取組や関心・意欲・態度に関する質問事項の比較結果

①国語の勉強は好きですか。



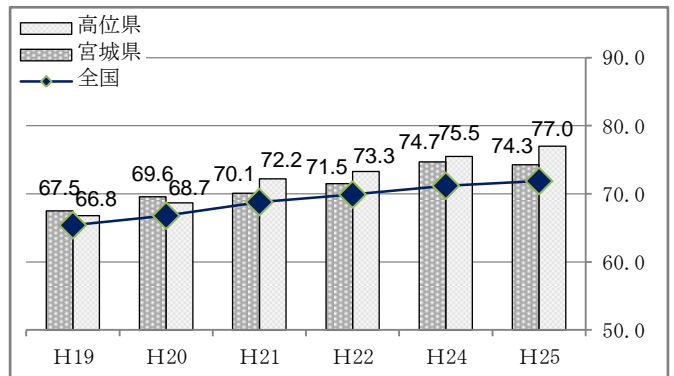
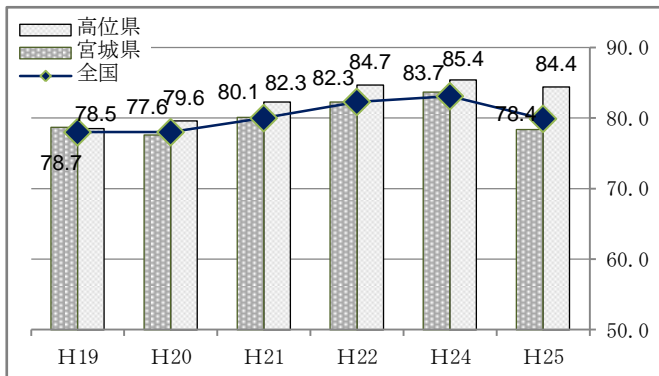
・小・中学生ともに減少し、高位県より低い。小学生は全国値より低い。

②算数・数学の勉強は好きですか。



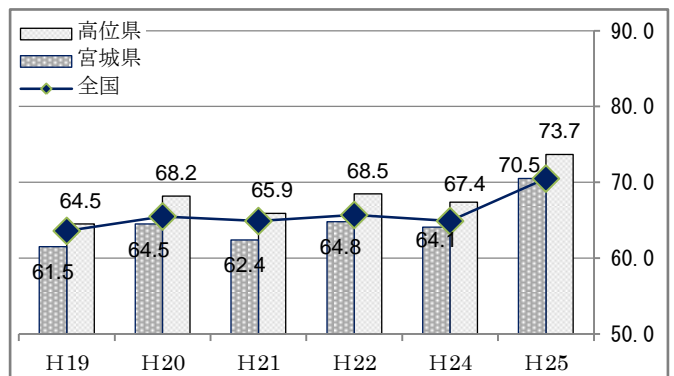
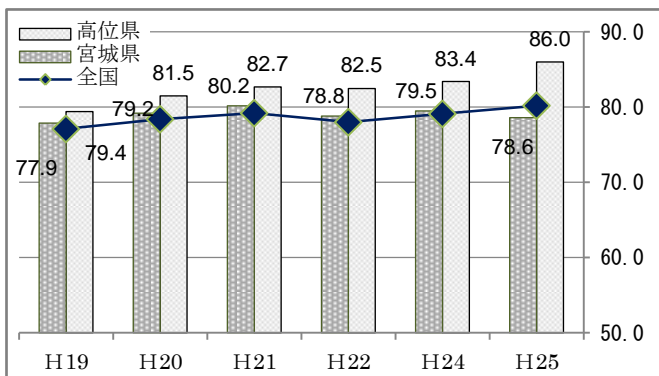
・小・中学生ともに全国値とほぼ同じだが、高位県より低い。

③国語の授業の内容はよく分かりますか。



・小学生は全国値及び高位県より低い。
・中学生は全国値より高いが、高位県より低い。

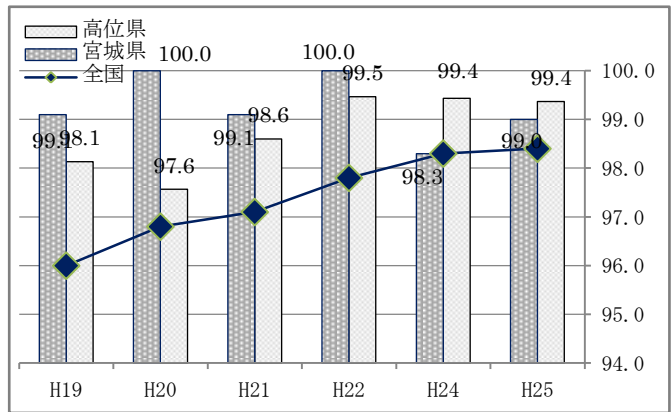
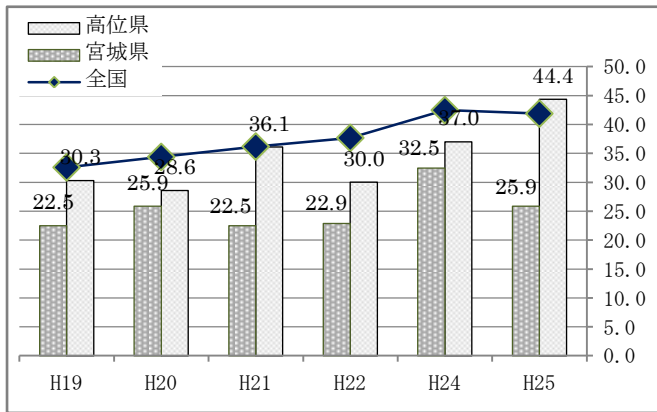
④算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。



・小学生は全国値及び高位県より低い。
・中学生は全国値とほぼ同じだが、高位県より低い。

(5) 地域人材・施設の活用に関する質問事項の比較結果 (学校質問紙調査)

① 職場見学や職場体験活動を行っていますか。



- ・小学生は全国値及び高位県より低い。
- ・中学生は全国値より高いが、高位県より低い。

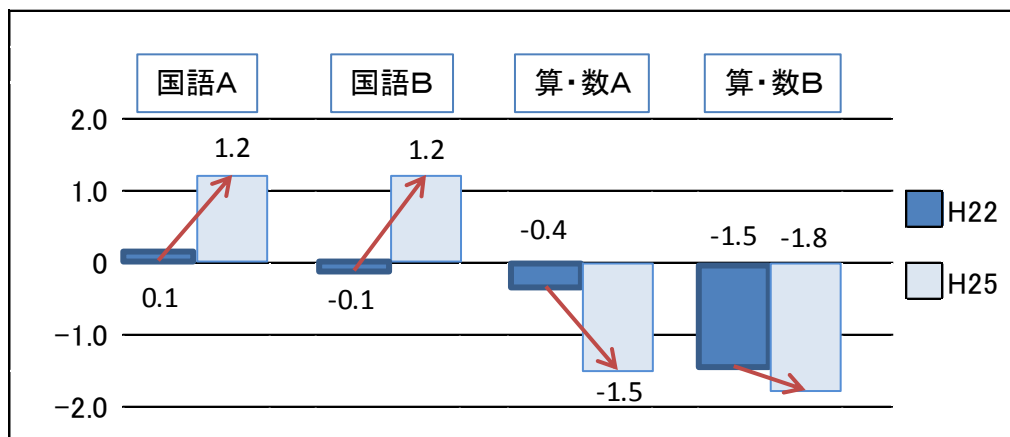
(6) 高位県との比較から見てきた宮城県全体の状況

- 本県児童生徒の自尊意識は、高位県と比較して小・中学生ともに低い。中学生の自尊意識は、本県、高位県、全国ともに昨年度より低下した。小学生については、高位県が上昇したのに対して、本県では低下した。
- 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合は、高位県と比較すると小・中学生ともに低い。また、小学生においては全国より低い。
- 長時間テレビやビデオ・DVDを見る児童生徒の割合は、高位県、全国、本県ともに減少傾向にあるものの、本県小・中学生の割合は明らかに高い。また、メールを使用する割合も、本県児童生徒は高位県に比べて高い。
- 平日に家で1時間以上勉強する本県小学生の割合は、高位県よりも低い。2時間以上勉強する本県中学生の割合は、高位県よりも高いが、全国よりは低い。
- 家で授業の復習をする児童生徒の割合は、本県小・中学生ともに全国を上回るが、小学生は高位県より低い。中学生は、高位県よりも高い。
- 国語、算数・数学が好き、授業の内容が分かると答えた本県小・中学生の割合は、ともに高位県を下回っている。しかしながら、本県中学生については、国語・数学ともに授業の内容が分かると答えた割合は、調査開始時に比べて増加の傾向が見られる。

Ⅶ 平成22年度の調査結果との比較

今年度の調査に参加した中学校3年生は、平成22年度調査で小学校6年生として本調査を受けていることから、今年度調査対象となった中学校3年生と平成22年度の小学校6年生の調査結果について、全国平均正答率とのかい離の比較を行った。

○教科に関する調査結果（全国平均正答率とのかい離の比較）



- 国語A、国語Bにおいては、小学校6年生の時には全国平均と同程度であったが、中学校3年生の時には全国平均を上回る結果となっている。
- 算数A・数学Aにおいては、小学校6年生の時には全国平均をやや下回る程度であったが、中学校3年生の時には全国平均を下回る結果となっている。
- 算数B・数学Bにおいては、小学校6年生の時には全国平均を下回っており、中学校3年生の時には全国平均を下回る結果となっている。